

2025年に向けた対応方針に係る検討の進め方【案】 参考資料（圏域別）

～各医療機関の対応方針の策定・検証・見直し～

東京都福祉保健局医療政策部

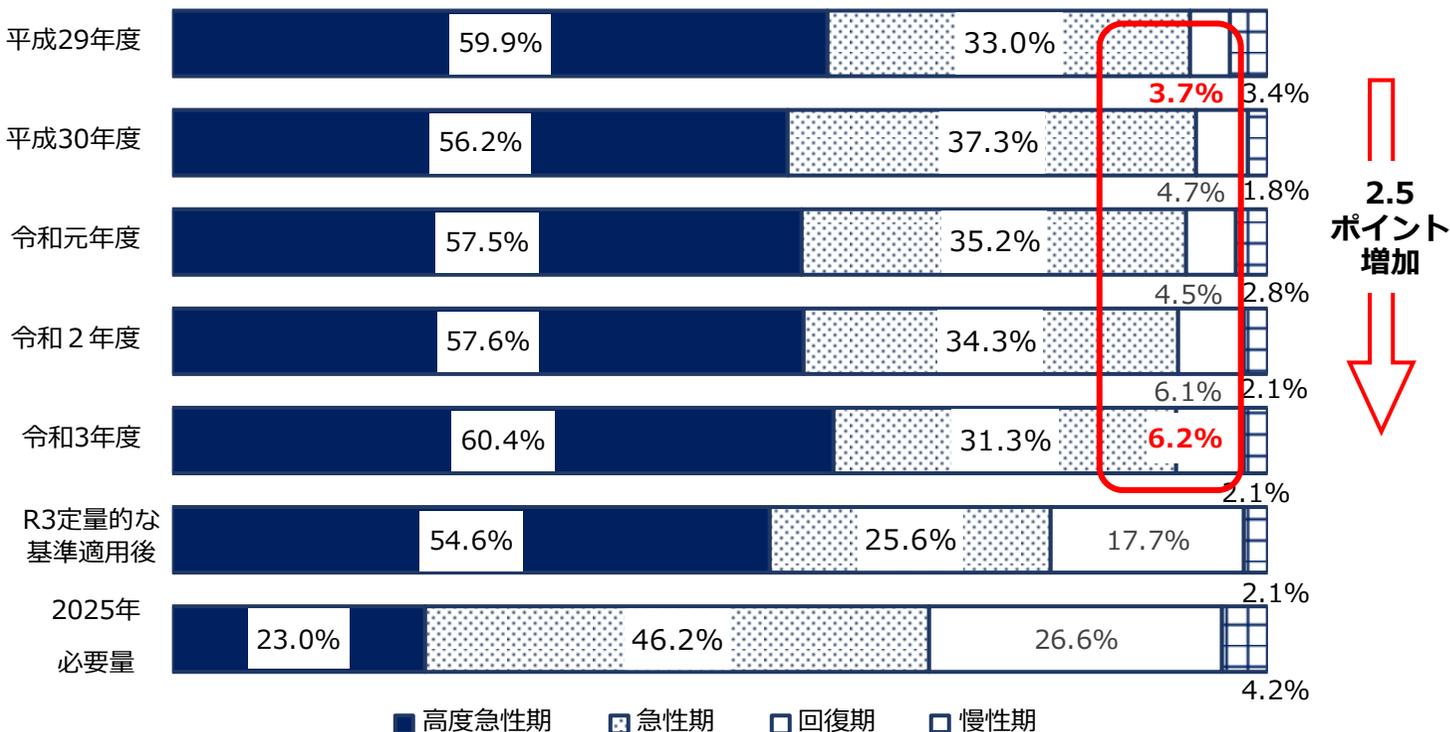
目次

区中央部	2
区南部	6
区西南部	10
区西部	14
区西北部	18
区東北部	22
区東部	26
西多摩	30
南多摩	34
北多摩西部	38
北多摩南部	42
北多摩北部	46

【区中央部】病床の機能分化の進捗状況①

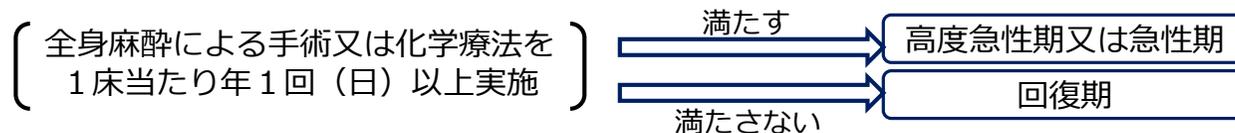
- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和3年度では 2.5ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

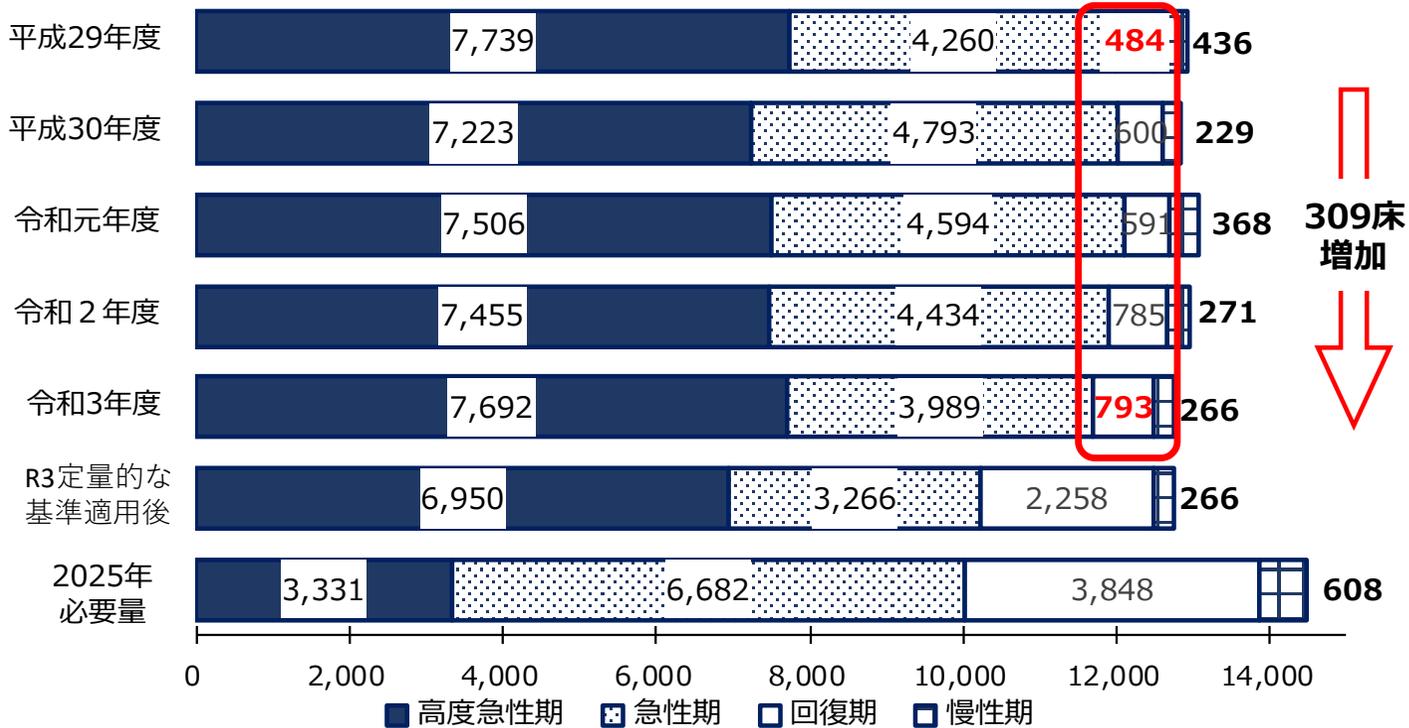


（出所）病床機能報告より作成

【区中央部】病床の機能分化の進捗状況②

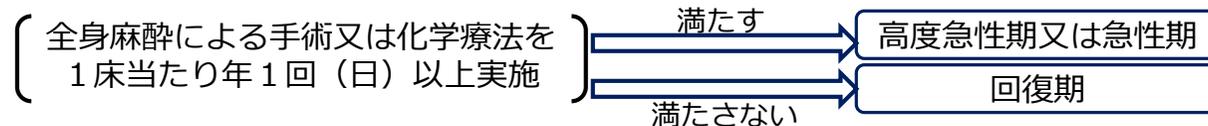
- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和3年度では 309床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



(出所) 病床機能報告より作成

【区中央部】一般病床及び療養病床の状況

一般病床

療養病床

救命救急入院料

入院料 2 2施設 22床 入院料 1 5施設 93床
 入院料 4 4施設 53床 入院料 3 1施設 12床

特定機能病院入院基本料

7対1 7施設 4,854床

専門病院入院基本料

7対1 1施設 773床

急性期一般入院料 1

16施設 4,109床

24施設 9,736床

回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 3施設 138床 入院料 4 0施設 0床
 入院料 2 1施設 40床 入院料 5 0施設 0床
 入院料 3 2施設 81床 入院料 6 0施設 0床

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 3施設 106床 入院料 3 0施設 0床
 入院料 2 7施設 300床 入院料 4 0施設 0床

特定集中治療室管理料

管理料 1 9施設 111床
 管理料 2 1施設 16床
 管理料 3 7施設 84床
 管理料 4 1施設 18床

ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料 1 12施設 155床
 管理料 2 0施設 0床

小児特定集中 治療室管理料

0施設 0床

脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

3施設 21床

急性期一般入院料 2～7

9施設 392床

地域一般入院料

入院料 1・2 0施設 0床
 入院料 3 3施設 215床

緩和ケア病棟入院料

入院料 1 6施設 114床
 入院料 2 0施設 0床

療養病棟入院基本料

基本料 1 5施設 222床
 基本料 2 0施設 0床

総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 2施設 15床
 新生児 3施設 45床

小児入院医療管理料

入院料 1 3施設 187床
 入院料 2 5施設 168床
 入院料 3 2施設 50床
 入院料 4 1施設 18床

障害者施設等入院基本料

入院料 1 0施設 0床
 入院料 2 0施設 0床
 入院料 3 0施設 0床
 入院料 4 0施設 0床

新生児特定集中治療室 管理料

管理料 1 2施設 14床
 管理料 2 2施設 9床

新生児治療回復室 入院医療管理料

6施設 120床

特殊疾患病棟入院料

0施設 0床

有床診療所入院基本料

13施設 140床

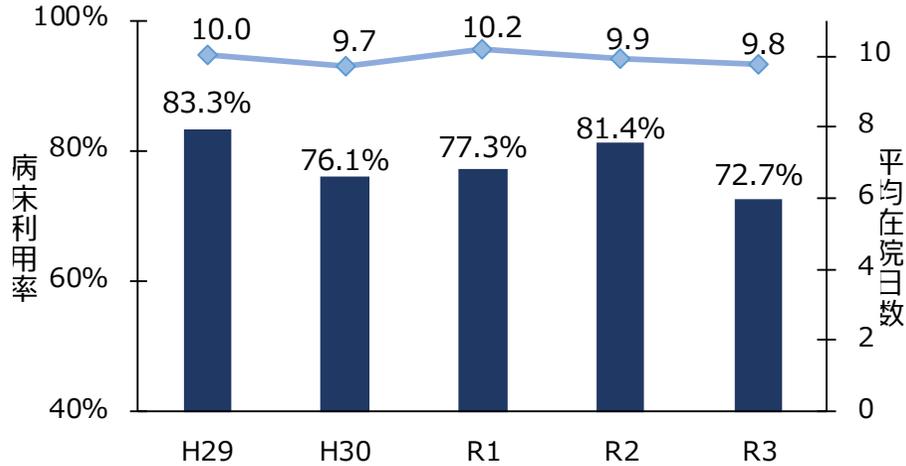
有床診療所療養病床入院基本料

1施設 11床

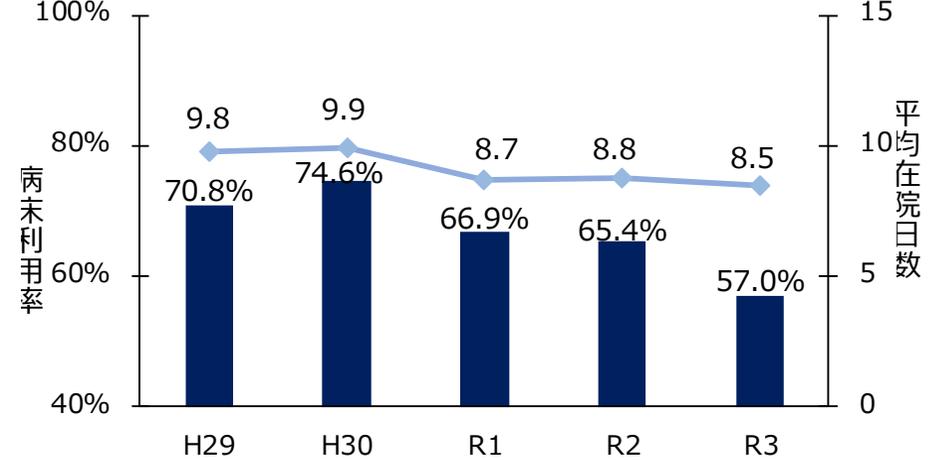
DPC/PDCS 20施設 10,478床

【区中央部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

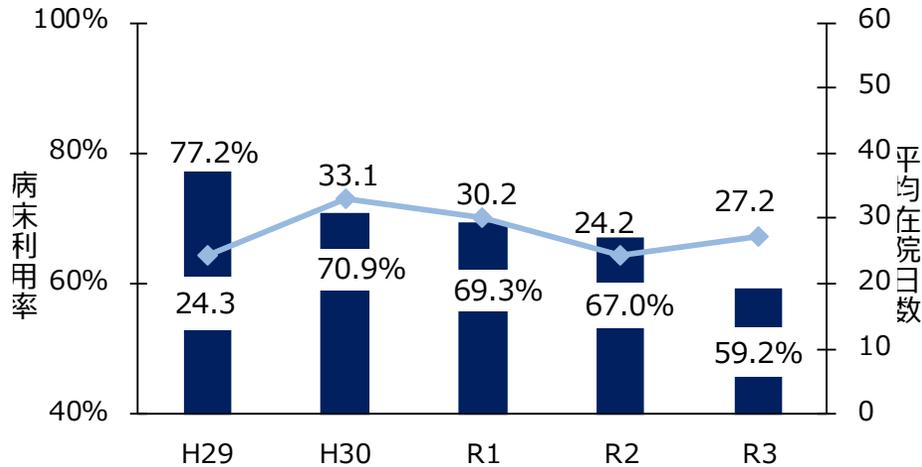
高度急性期



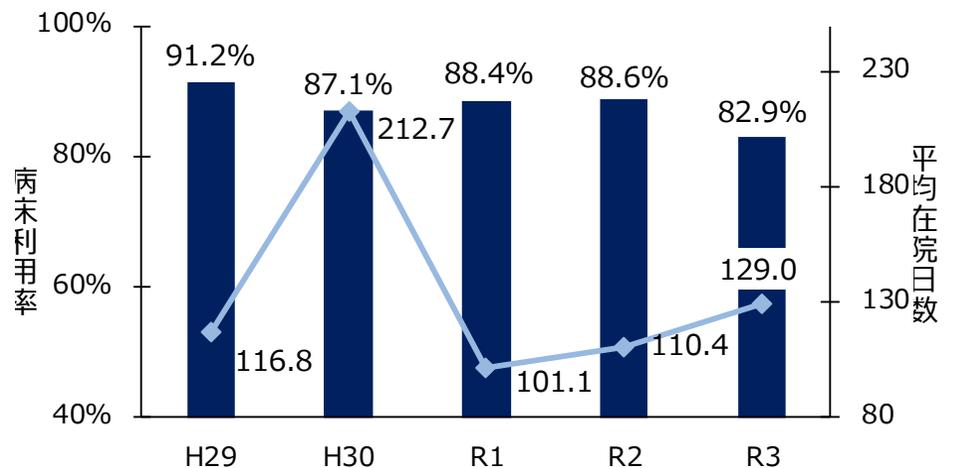
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度報告は、令和2年4月1日～令和3年3月31日の数値

$$\text{病床利用率} = \frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数} \times \text{年間日数）}} \times 100$$

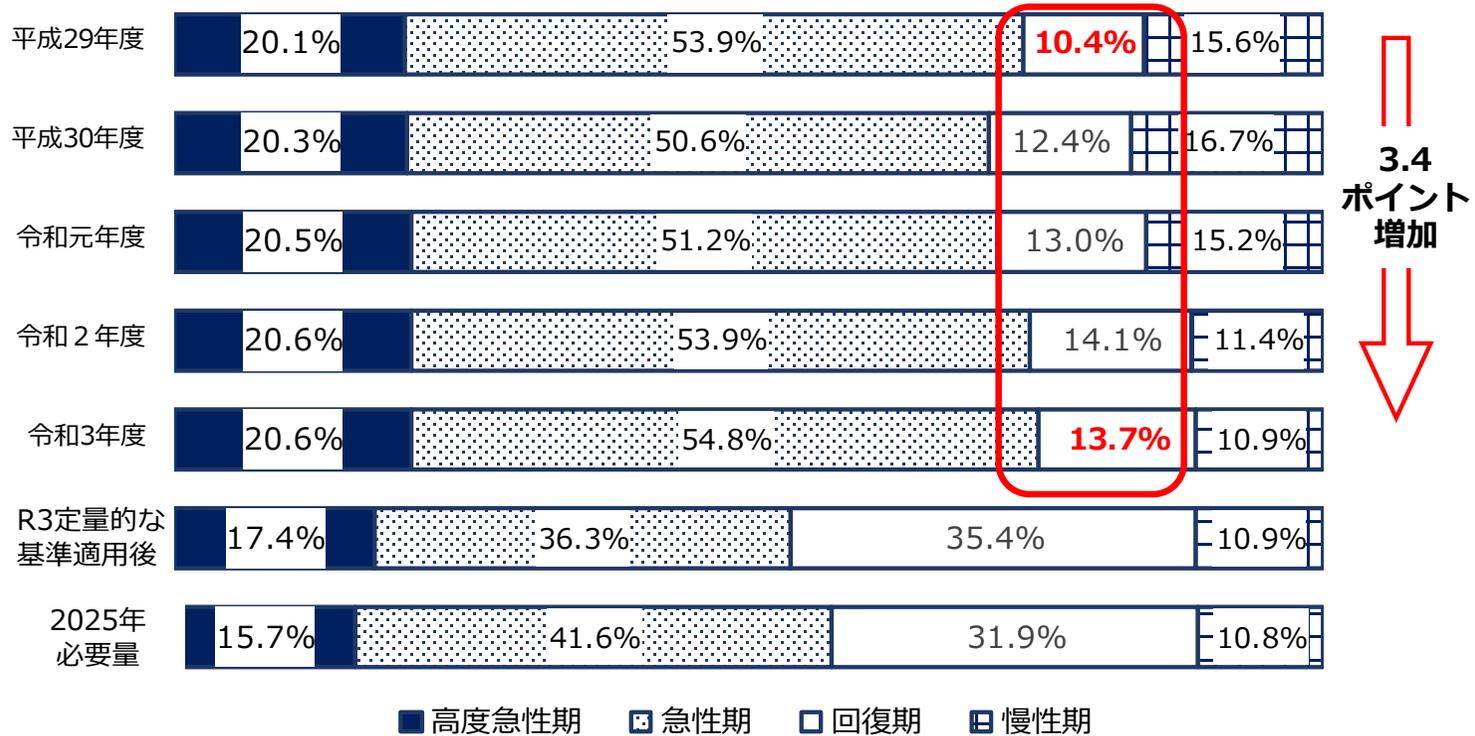
$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$$

■ 病床利用率
 ◆ 平均在院日数（右軸）
 （出所）病床機能報告より作成

【区南部】 病床の機能分化の進捗状況①

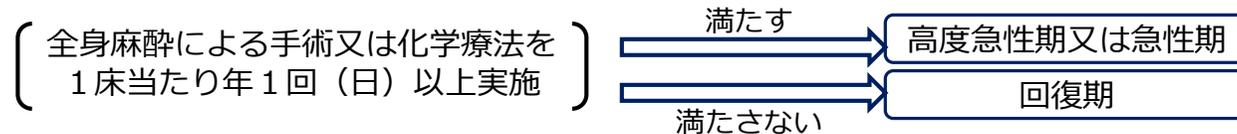
- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和3年度では 3.4ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

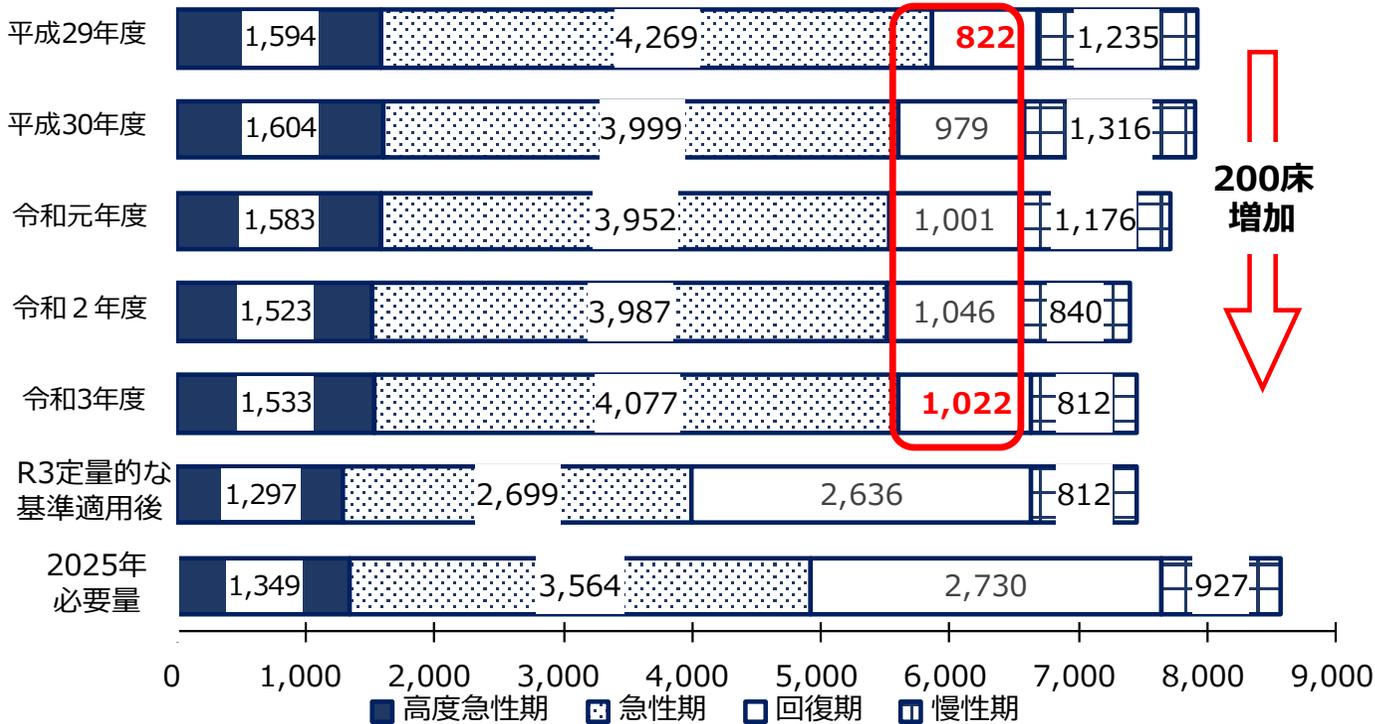


（出所）病床機能報告より作成

【区南部】 病床の機能分化の進捗状況②

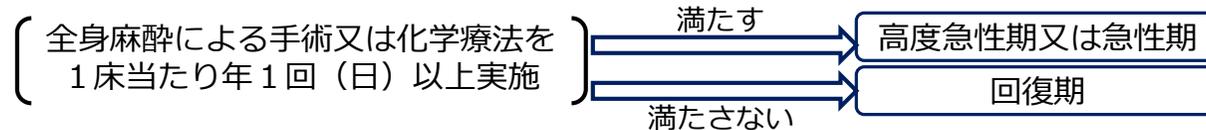
- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和3年度では 200床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

【区南部】 一般病床及び療養病床の状況

一般病床

療養病床

救命救急入院料

入院料 2 0施設 0床 入院料 1 1施設 13床
 入院料 4 1施設 6床 入院料 3 1施設 14床

特定集中治療室管理料

管理料 1 2施設 24床
 管理料 2 1施設 9床
 管理料 3 6施設 54床
 管理料 4 0施設 0床

ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料 1 8施設 126床
 管理料 2 0施設 0床

小児特定集中 治療室管理料

0施設 0床

脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

1施設 12床

総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 2施設 18床
 新生児 2施設 30床

新生児特定集中治療室 管理料

管理料 1 0施設 0床
 管理料 2 0施設 0床

新生児治療回復室 入院医療管理料

2施設 45床

特定機能病院入院基本料

7対1 2施設 1,346床

専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

急性期一般入院料 1

13施設 2,809床

15施設4,155床

急性期一般入院料 2～7

9施設 542床

地域一般入院料

入院料 1・2 1施設 20床
 入院料 3 3施設 83床

小児入院医療管理料

入院料 1 2施設 97床
 入院料 2 0施設 0床
 入院料 3 0施設 0床
 入院料 4 1施設 13床

回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 5施設 590床 入院料 4 0施設 0床
 入院料 2 0施設 0床 入院料 5 0施設 0床
 入院料 3 1施設 84床 入院料 6 0施設 0床

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 3施設 129床 入院料 3 0施設 0床
 入院料 2 6施設 232床 入院料 4 0施設 0床

緩和ケア病棟入院料

入院料 1 1施設 16床
 入院料 2 0施設 0床

療養病棟入院基本料

基本料 1 10施設 628床
 基本料 2 1施設 46床

障害者施設等入院基本料

入院料 1 0施設 0床
 入院料 2 3施設 155床
 入院料 3 0施設 0床
 入院料 4 0施設 0床

特殊疾患病棟入院料

0施設 0床

有床診療所入院基本料

10施設 97床

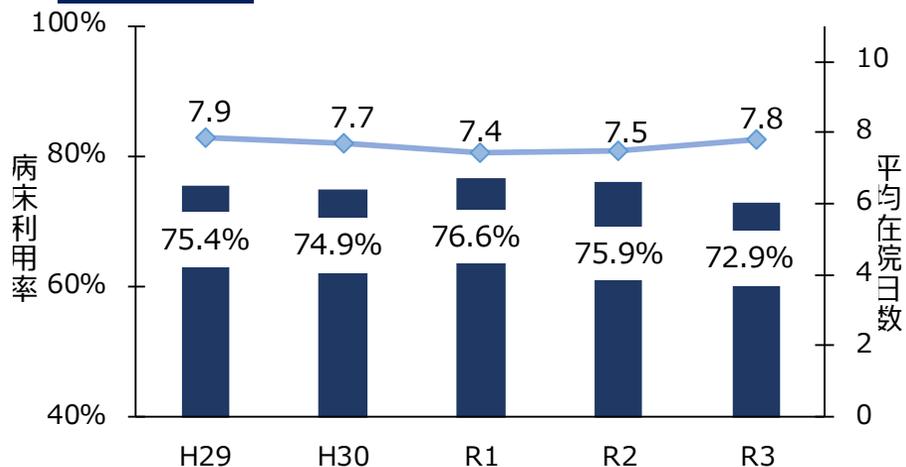
有床診療所療養病床入院基本料

1施設 19床

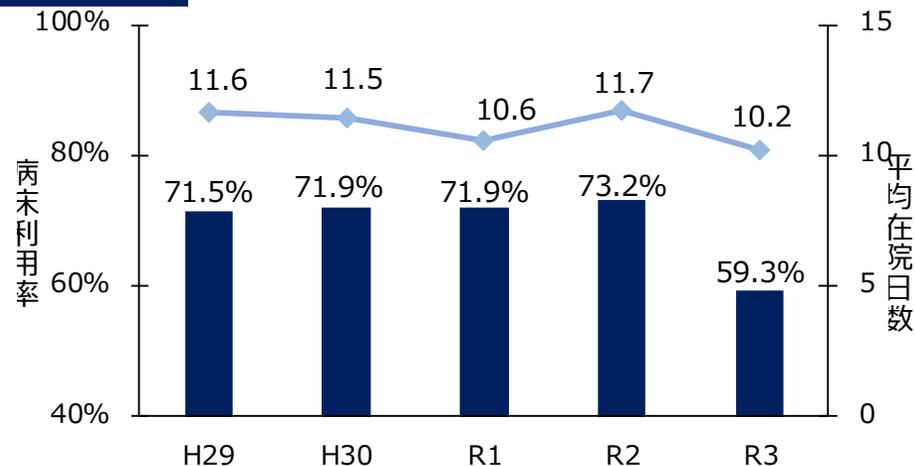
DPC/PDCS 16施設4,706床

【区南部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

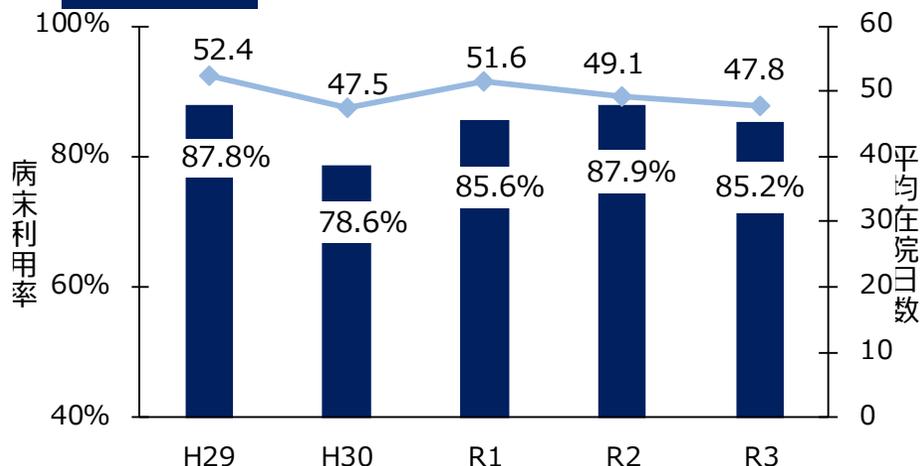
高度急性期



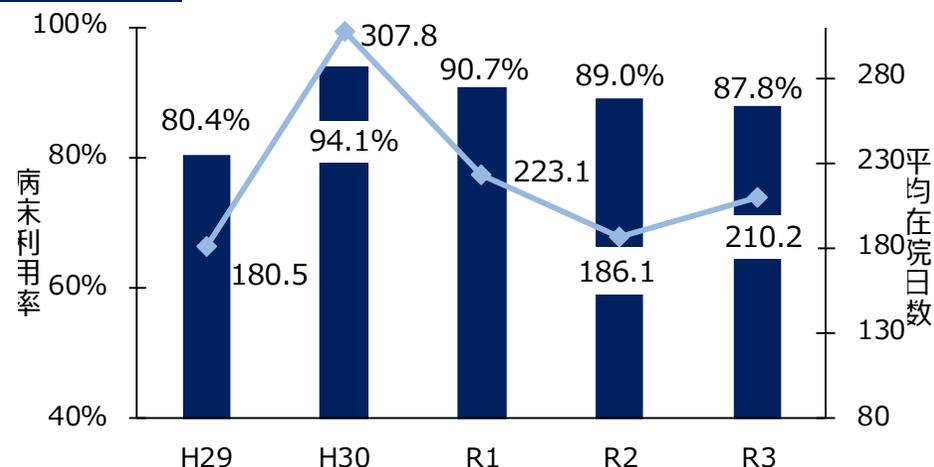
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度報告は、令和2年4月1日～令和3年3月31日の数値

$$\text{病床利用率} = \frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$$

$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$$

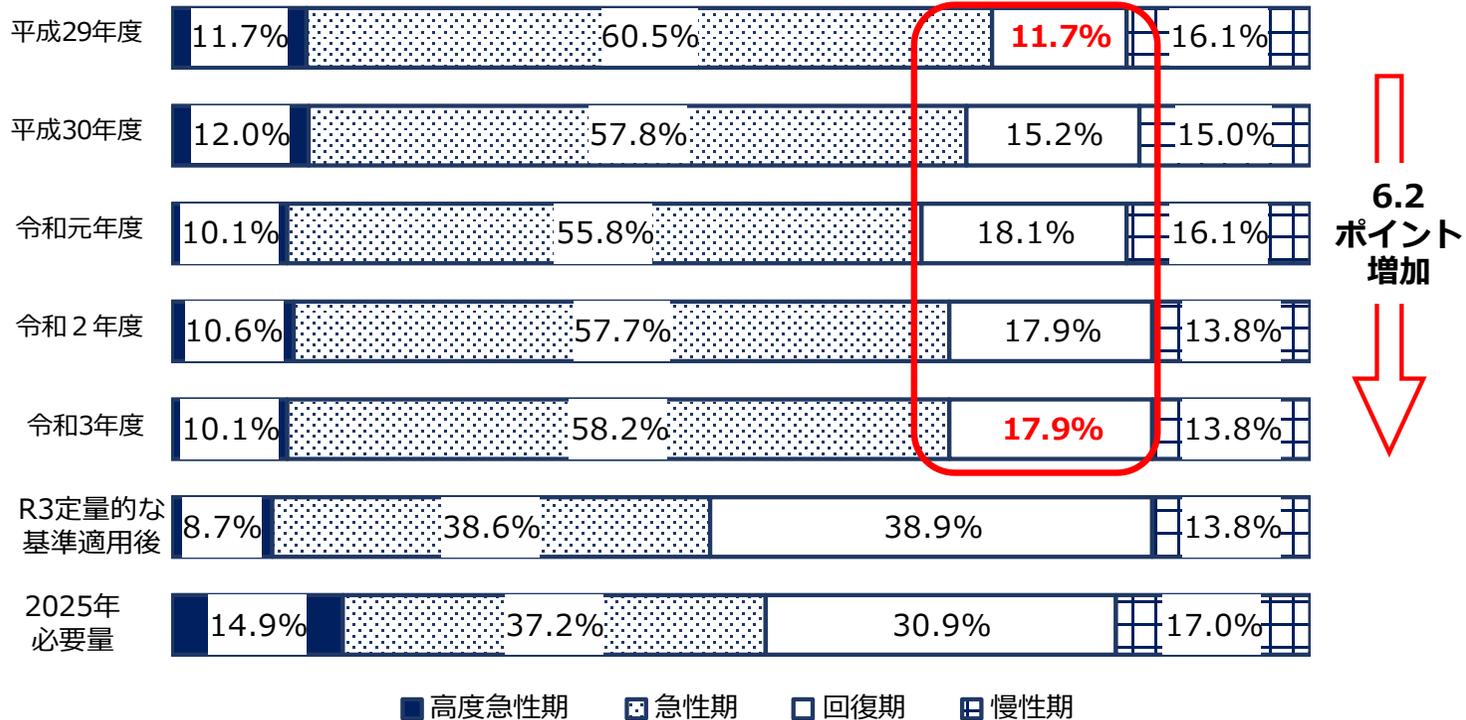
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数（右軸）

（出所）病床機能報告より作成

【区西南部】病床の機能分化の進捗状況①

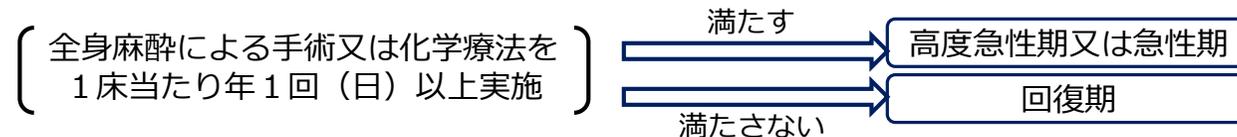
- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和3年度では 6.2ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

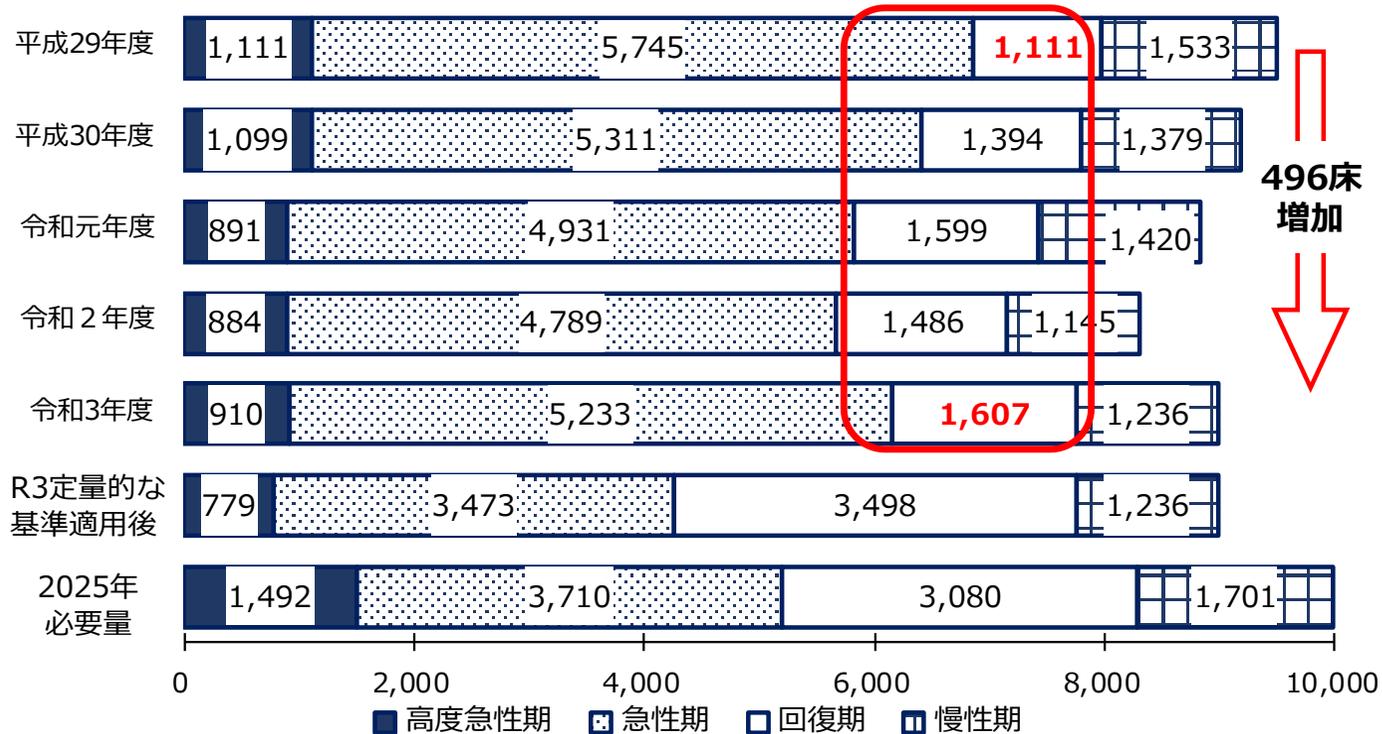


（出所）病床機能報告より作成

【区西南部】 病床の機能分化の進捗状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和3年度では 496床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



(出所) 病床機能報告より作成

【区西南部】一般病床及び療養病床の状況

一般病床

療養病床

救命救急入院料

入院料 2 1施設 6床 入院料 1 2施設 34床
 入院料 4 2施設 16床 入院料 3 1施設 18床

特定集中治療室管理料

管理料 1 3施設 26床
 管理料 2 0施設 0床
 管理料 3 3施設 22床
 管理料 4 0施設 0床

ハイケアユニット

入院医療管理料
 管理料 1 5施設 61床
 管理料 2 0施設 0床

特定機能病院入院基本料

7対1 0施設 0床

専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

急性期一般入院料 1

15施設 3,969床

15施設3,969床

急性期一般入院料 2～7

17施設 1,078床

地域一般入院料

入院料1・2 0施設 0床
 入院料 3 2施設 140床

小児入院医療管理料

入院料 1 2施設 326床
 入院料 2 0施設 0床
 入院料 3 1施設 33床
 入院料 4 3施設 53床

回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 7施設 910床 入院料 4 1施設 10床
 入院料 2 2施設 107床 入院料 5 0施設 0床
 入院料 3 0施設 0床 入院料 6 1施設 26床

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 5施設 185床 入院料 3 0施設 0床
 入院料 2 10施設 355床 入院料 4 0施設 0床

小児特定集中治療室管理料
 1施設 20床

脳卒中ケアユニット
 入院医療管理料
 2施設 18床

総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 2施設 12床
 新生児 2施設 36床

新生児特定集中治療室管理料

管理料 1 0施設 0床
 管理料 2 1施設 3床

新生児治療回復室 入院医療管理料

2施設 70床

緩和ケア病棟入院料

入院料 1 1施設 18床
 入院料 2 1施設 19床

療養病棟入院基本料

基本料 1 10施設 855床
 基本料 2 0施設 0床

障害者施設等入院基本料

入院料 1 0施設 0床
 入院料 2 3施設 238床
 入院料 3 0施設 0床
 入院料 4 0施設 0床

特殊疾患病棟入院料
 0施設 0床

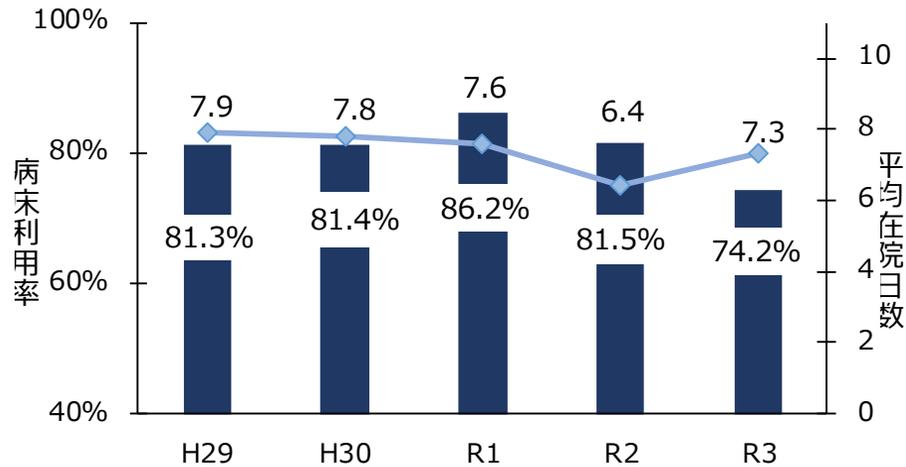
DPC/PDCS 16施設4,568床

有床診療所入院基本料
 18施設 199床

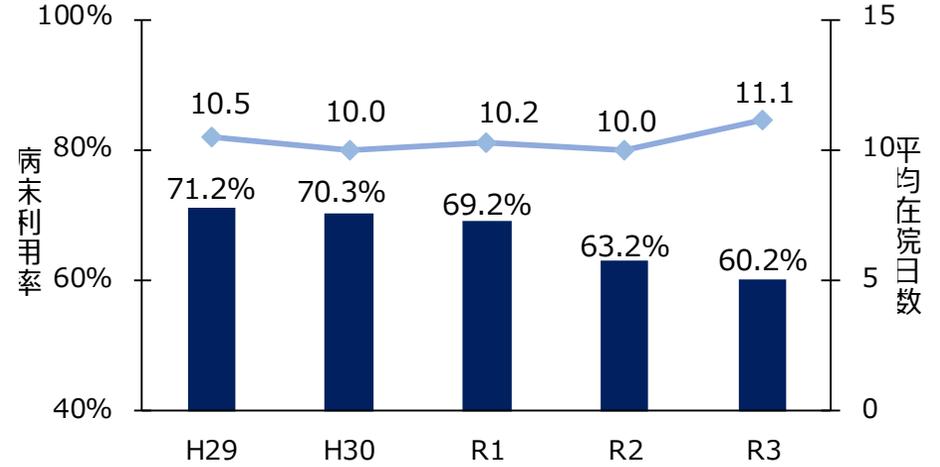
有床診療所療養病床入院基本料
 0施設 0床

【区西南部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

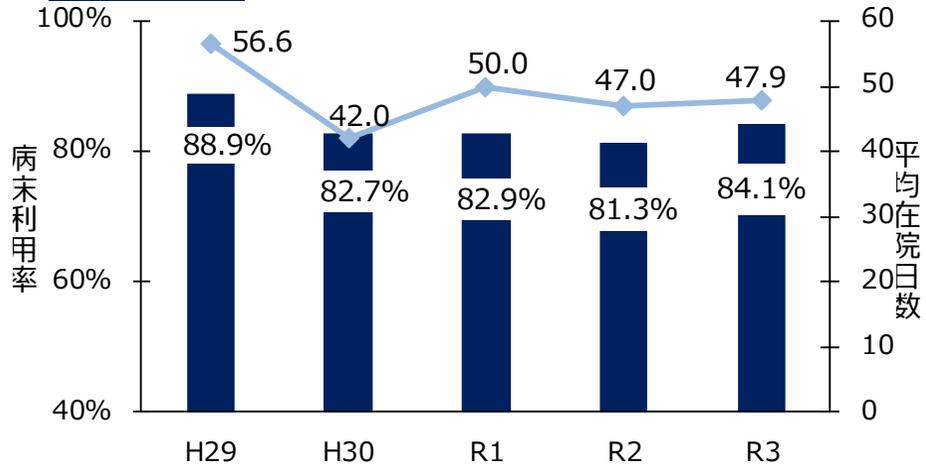
高度急性期



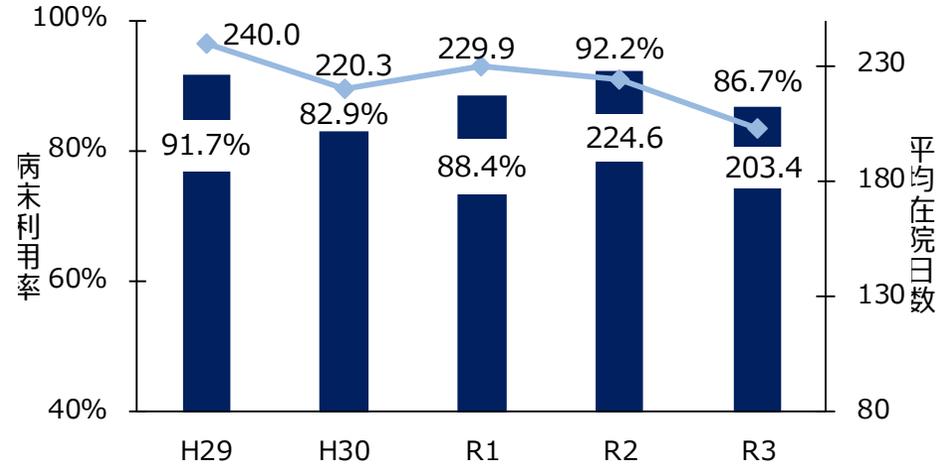
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度報告は、令和2年4月1日～令和3年3月31日の数値

$$\text{病床利用率} = \frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$$

$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$$

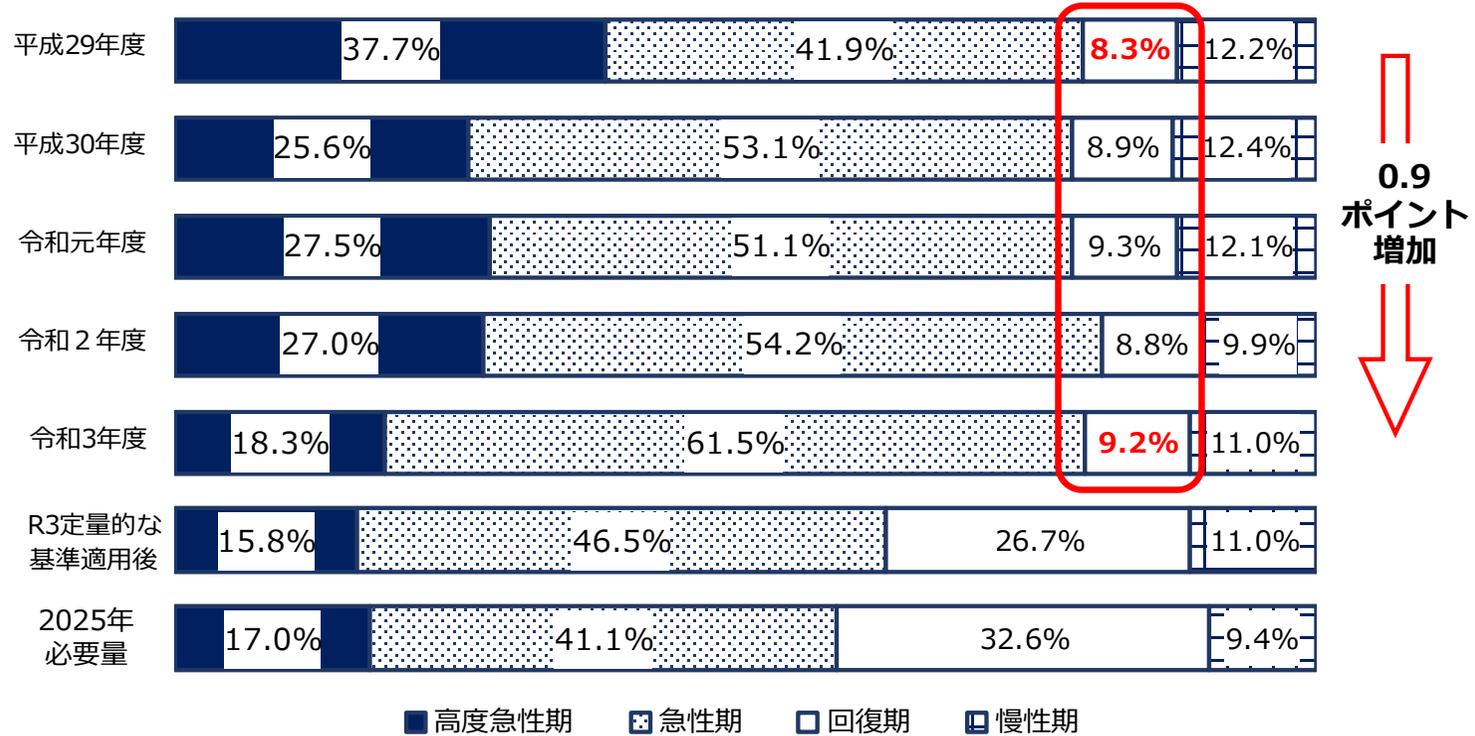
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数（右軸）

（出所）病床機能報告より作成

【区西部】 病床の機能分化の進捗状況①

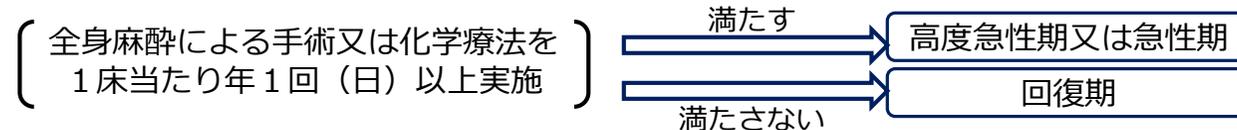
- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和3年度では 0.9ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

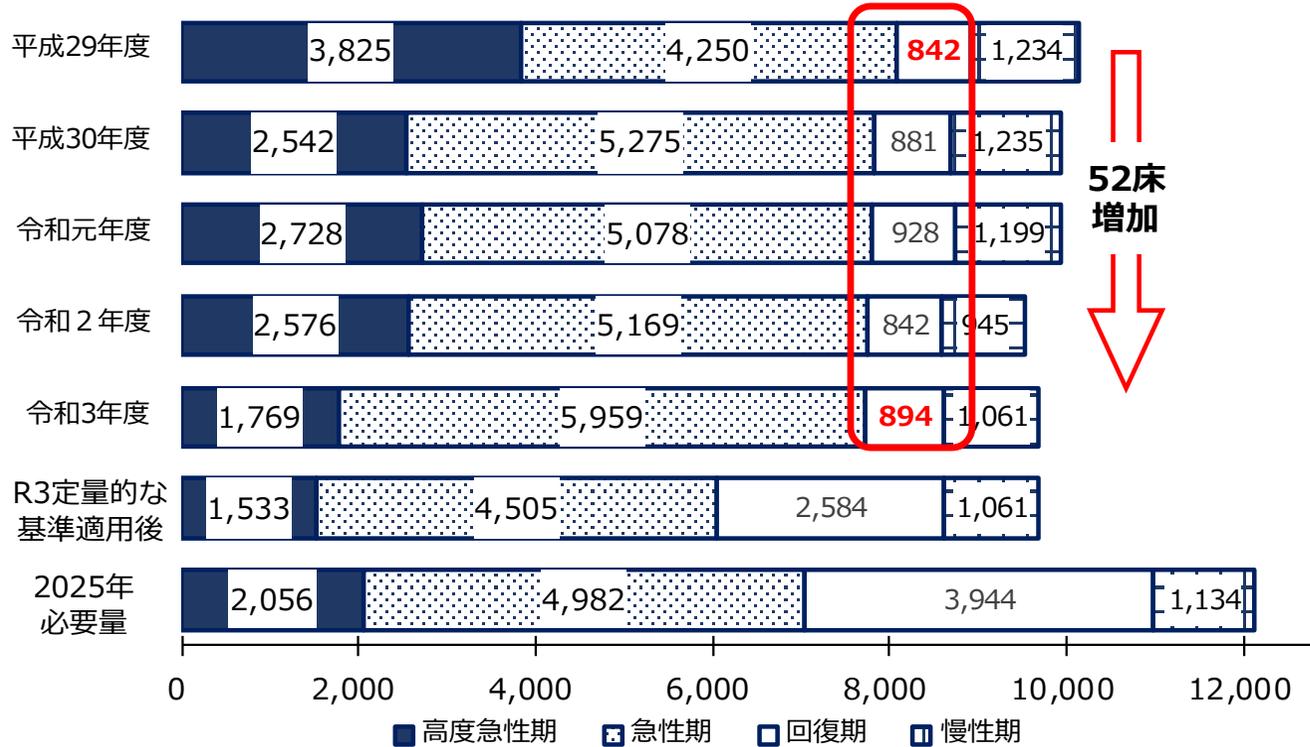


（出所）病床機能報告より作成

【区西部】 病床の機能分化の進捗状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和3年度では 52床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



(出所) 病床機能報告より作成

【区西部】一般病床及び療養病床の状況

一般病床

療養病床

救命救急入院料

入院料 2 1施設 12床 入院料 1 1施設 32床
 入院料 4 1施設 20床 入院料 3 0施設 0床

特定機能病院入院基本料

7対1 3施設 2,121床

専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

急性期一般入院料 1

14施設 3,817床

17施設5,938床

回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 5施設 468床 入院料 4 0施設 0床
 入院料 2 2施設 87床 入院料 5 0施設 0床
 入院料 3 2施設 100床 入院料 6 0施設 0床

特定集中治療室管理料

管理料 1 4施設 58床
 管理料 2 1施設 10床
 管理料 3 8施設 75床
 管理料 4 0施設 0床

ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料 1 8施設 141床
 管理料 2 0施設 0床

急性期一般入院料 2～7

10施設 429床

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 3施設 92床 入院料 3 1施設 32床
 入院料 2 7施設 316床 入院料 4 1施設 24床

小児特定集中 治療室管理料

0施設 0床

脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

3施設 35床

地域一般入院料

入院料 1・2 0施設 0床
 入院料 3 1施設 18床

緩和ケア病棟入院料

入院料 1 2施設 40床
 入院料 2 2施設 40床

療養病棟入院基本料

基本料 1 8施設 806床
 基本料 2 2施設 151床

総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 3施設 21床
 新生児 2施設 27床

小児入院医療管理料

入院料 1 3施設 195床
 入院料 2 0施設 0床
 入院料 3 1施設 21床
 入院料 4 3施設 52床

障害者施設等入院基本料

入院料 1 0施設 0床
 入院料 2 0施設 0床
 入院料 3 0施設 0床
 入院料 4 0施設 0床

新生児特定集中治療室 管理料

管理料 1 2施設 18床
 管理料 2 0施設 0床

新生児治療回復室 入院医療管理料

1施設 21床

特殊疾患病棟入院料

0施設 0床

DPC/PDCS 15施設6,590床

有床診療所入院基本料

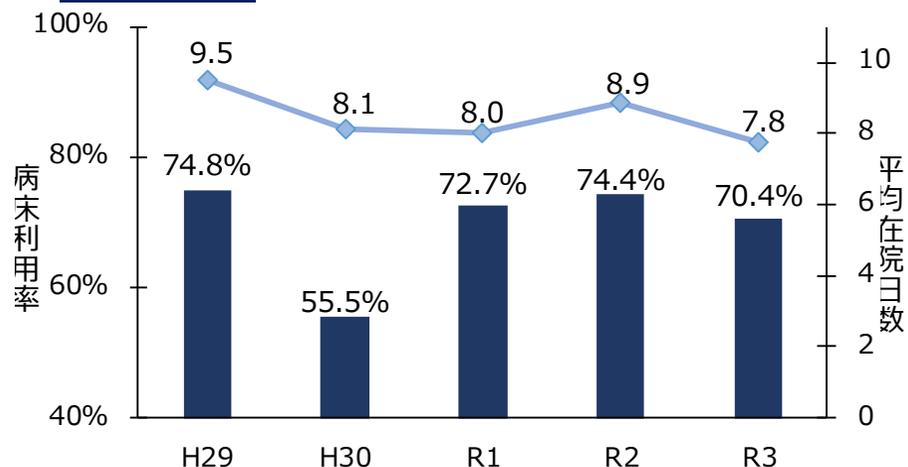
14施設 130床

有床診療所療養病床入院基本料

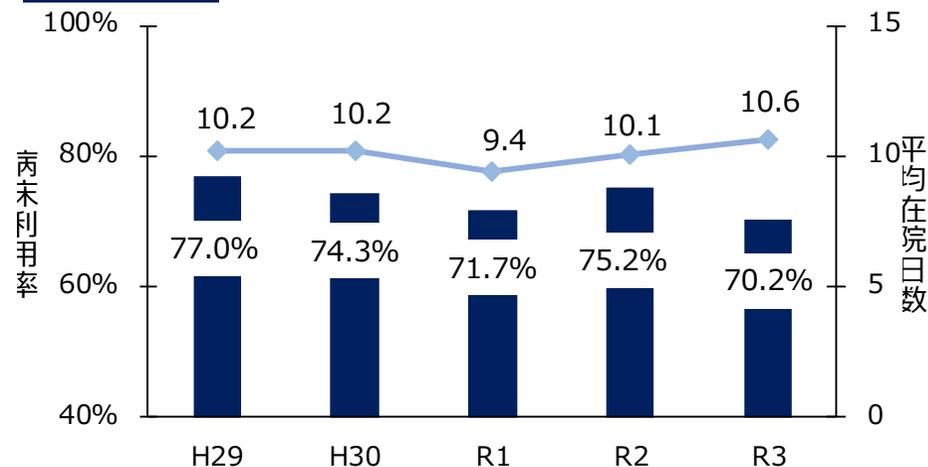
0施設 0床

【区西部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

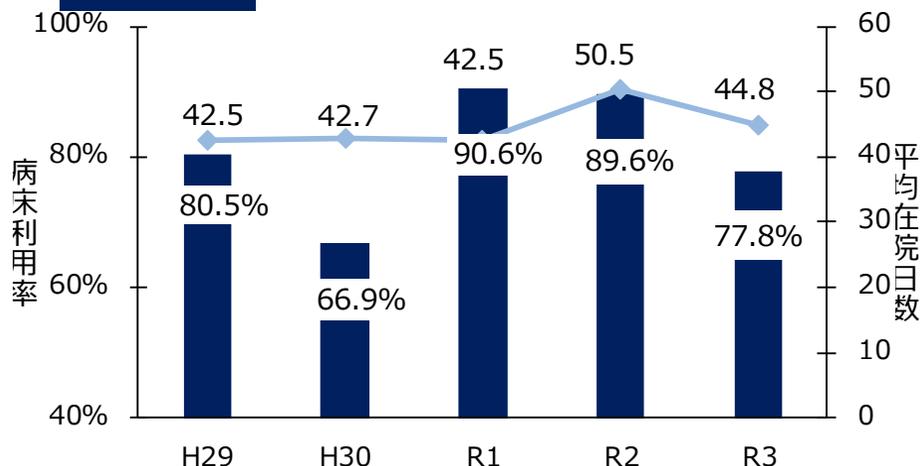
高度急性期



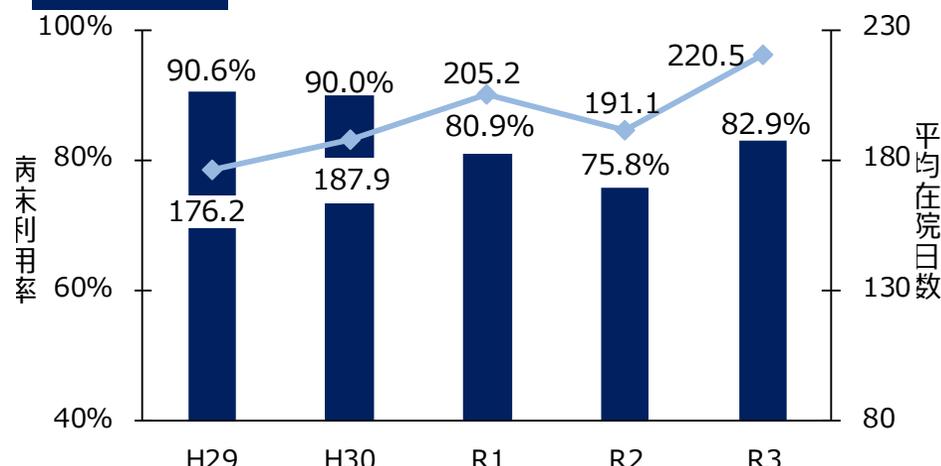
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度報告は、令和2年4月1日～令和3年3月31日の数値

$$\text{病床利用率} = \frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数} \times \text{年間日数）}} \times 100$$

$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$$

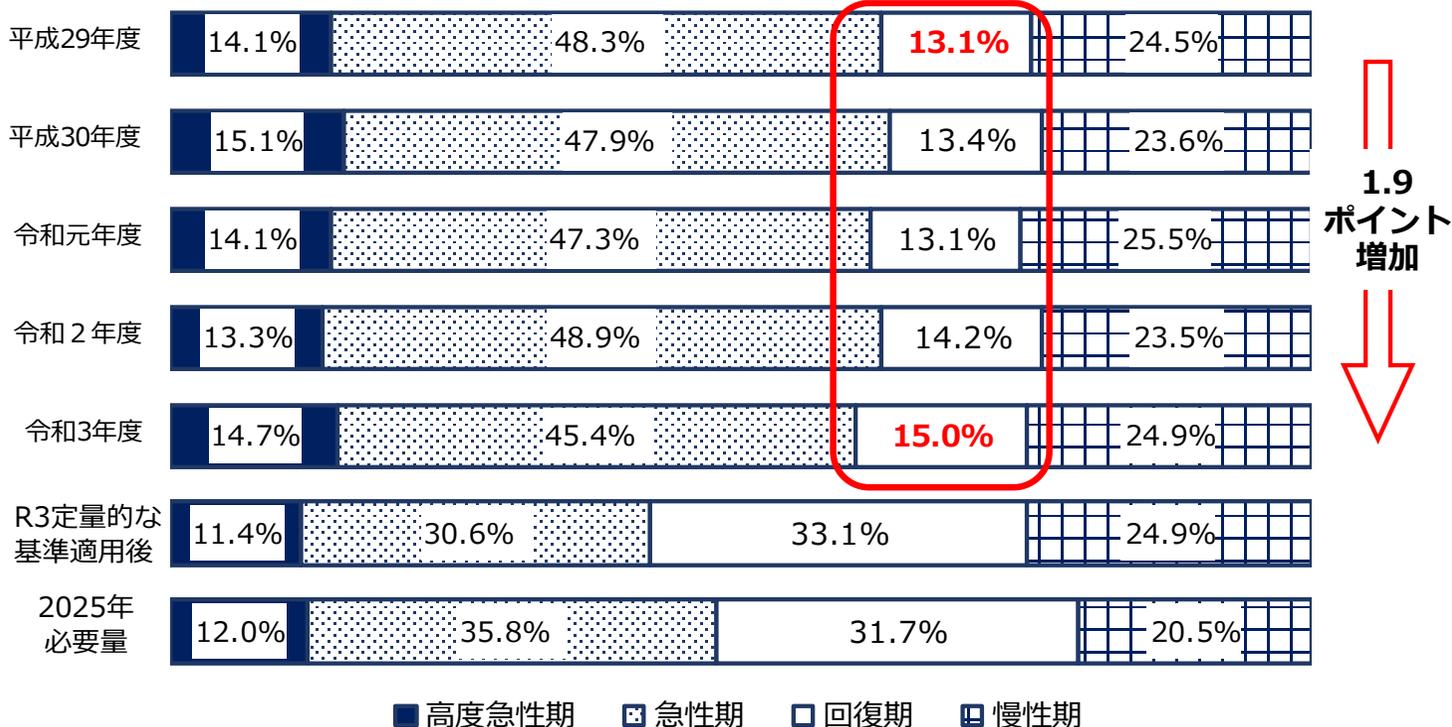
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数（右軸）

（出所）病床機能報告より作成

【区西北部】 病床の機能分化の進捗状況①

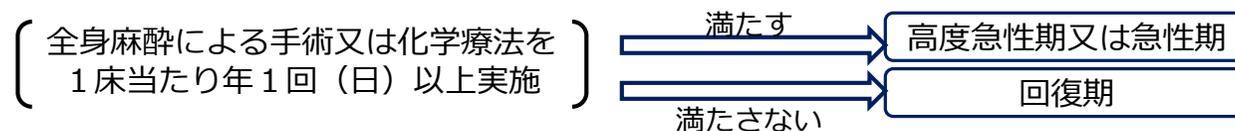
- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和3年度では 1.9ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

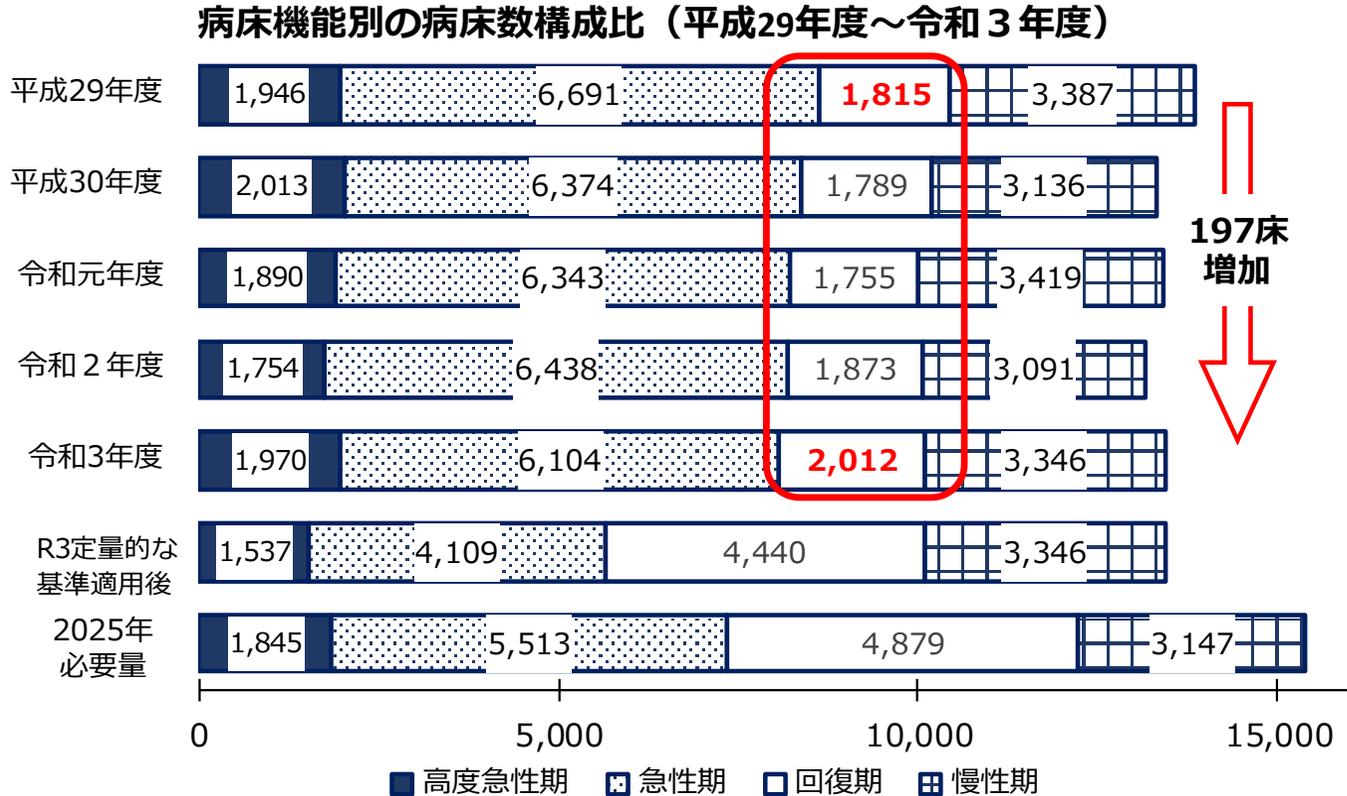
注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

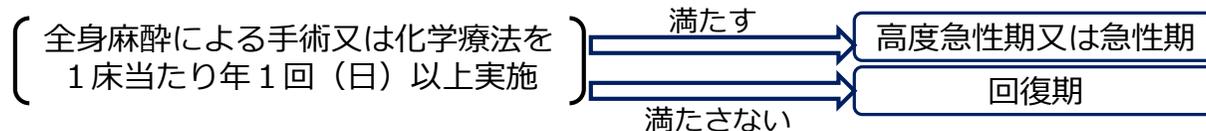
【区西北部】 病床の機能分化の進捗状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和3年度では 197床増



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



(出所) 病床機能報告より作成

【区西北部】一般病床及び療養病床の状況

一般病床

救命救急入院料

入院料 2 0施設 0床 入院料 1 1施設 14床
 入院料 4 2施設 38床 入院料 3 0施設 0床

特定集中治療室管理料

管理料 1 0施設 0床
 管理料 2 0施設 0床
 管理料 3 8施設 62床
 管理料 4 2施設 20床

ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料 1 5施設 89床
 管理料 2 0施設 0床

小児特定集中 治療室管理料

0施設 0床

脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

4施設 28床

総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 3施設 25床
 新生児 3施設 39床

新生児特定集中治療室 管理料

管理料 1 0施設 0床
 管理料 2 2施設 12床

新生児治療回復室 入院医療管理料

4施設 90床

特定機能病院入院基本料

7対1 2施設 1,637床

専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

急性期一般入院料 1

11施設 3,421床

13施設 5,058床

急性期一般入院料 2～7

20施設 1,126床

地域一般入院料

入院料1・2 7施設 417床
 入院料 3 11施設 454床

小児入院医療管理料

入院料 1 2施設 99床
 入院料 2 3施設 98床
 入院料 3 1施設 31床
 入院料 4 1施設 19床

DPC/PDCS 14施設 5,714床

療養病床

回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 11施設 1,062床 入院料 4 0施設 0床
 入院料 2 0施設 0床 入院料 5 0施設 0床
 入院料 3 5施設 200床 入院料 6 1施設 110床

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 12施設 462床 入院料 3 1施設 8床
 入院料 2 6施設 135床 入院料 4 0施設 0床

緩和ケア病棟入院料

入院料 1 3施設 65床
 入院料 2 0施設 0床

療養病棟入院基本料

基本料 1 26施設 1,983床
 基本料 2 5施設 367床

障害者施設等入院基本料

入院料 1 1施設 120床
 入院料 2 7施設 347床
 入院料 3 1施設 60床
 入院料 4 0施設 0床

特殊疾患病棟入院料

1施設 28床

有床診療所入院基本料

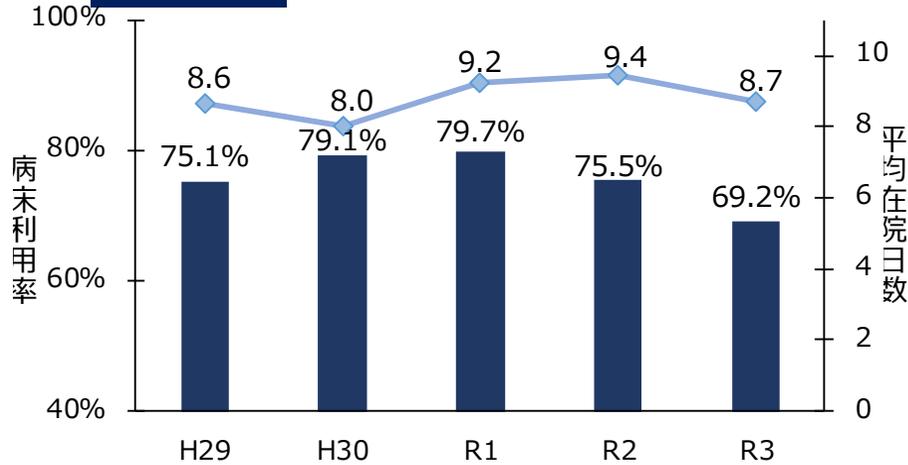
24施設 297床

有床診療所療養病床入院基本料

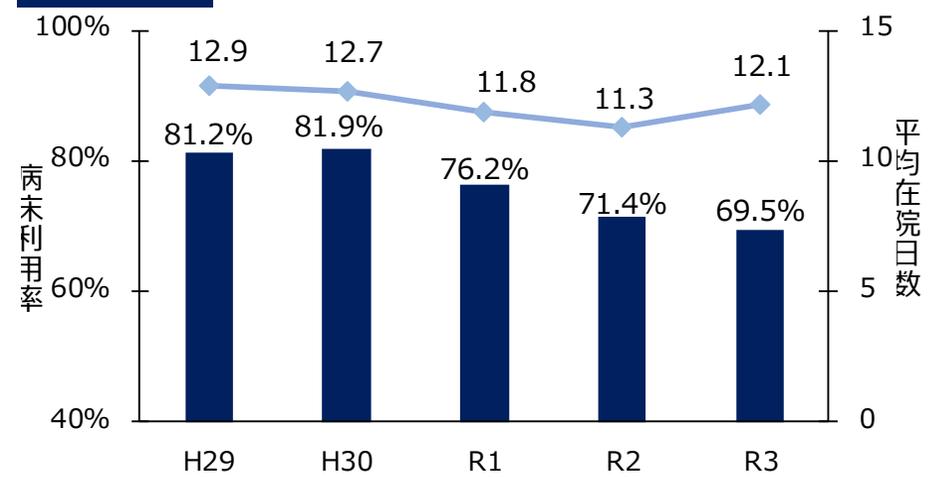
1施設 10床

【区西北部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

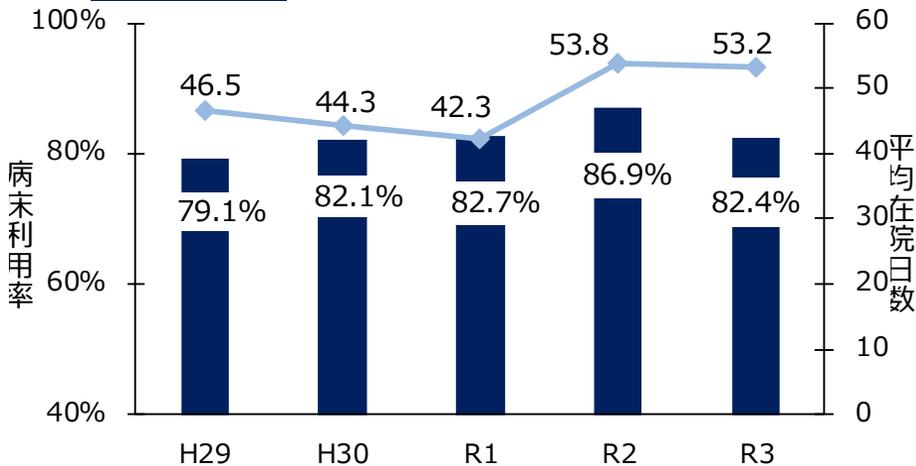
高度急性期



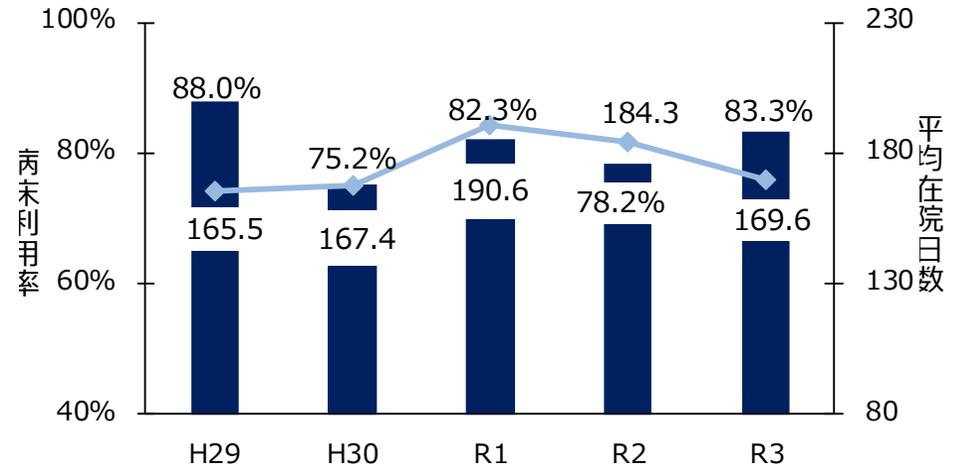
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度報告は、令和2年4月1日～令和3年3月31日の数値

$$\text{病床利用率} = \frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数} \times \text{年間日数）}} \times 100$$

$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$$

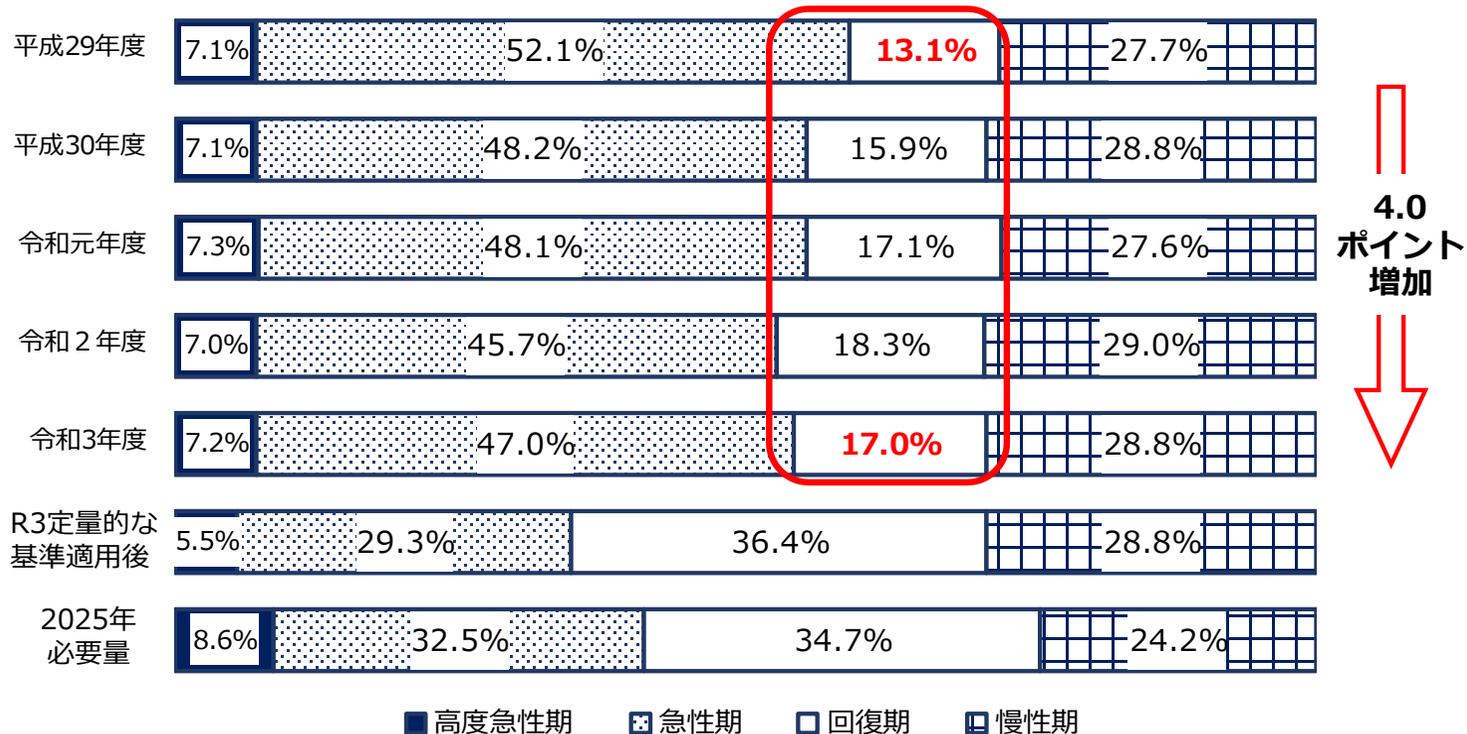
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数（右軸）

（出所）病床機能報告より作成

【区東北部】病床の機能分化の進捗状況①

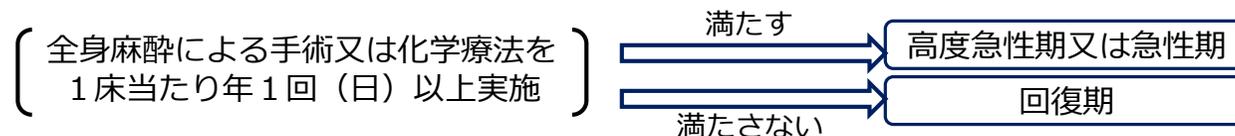
- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和3年度では4.0ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

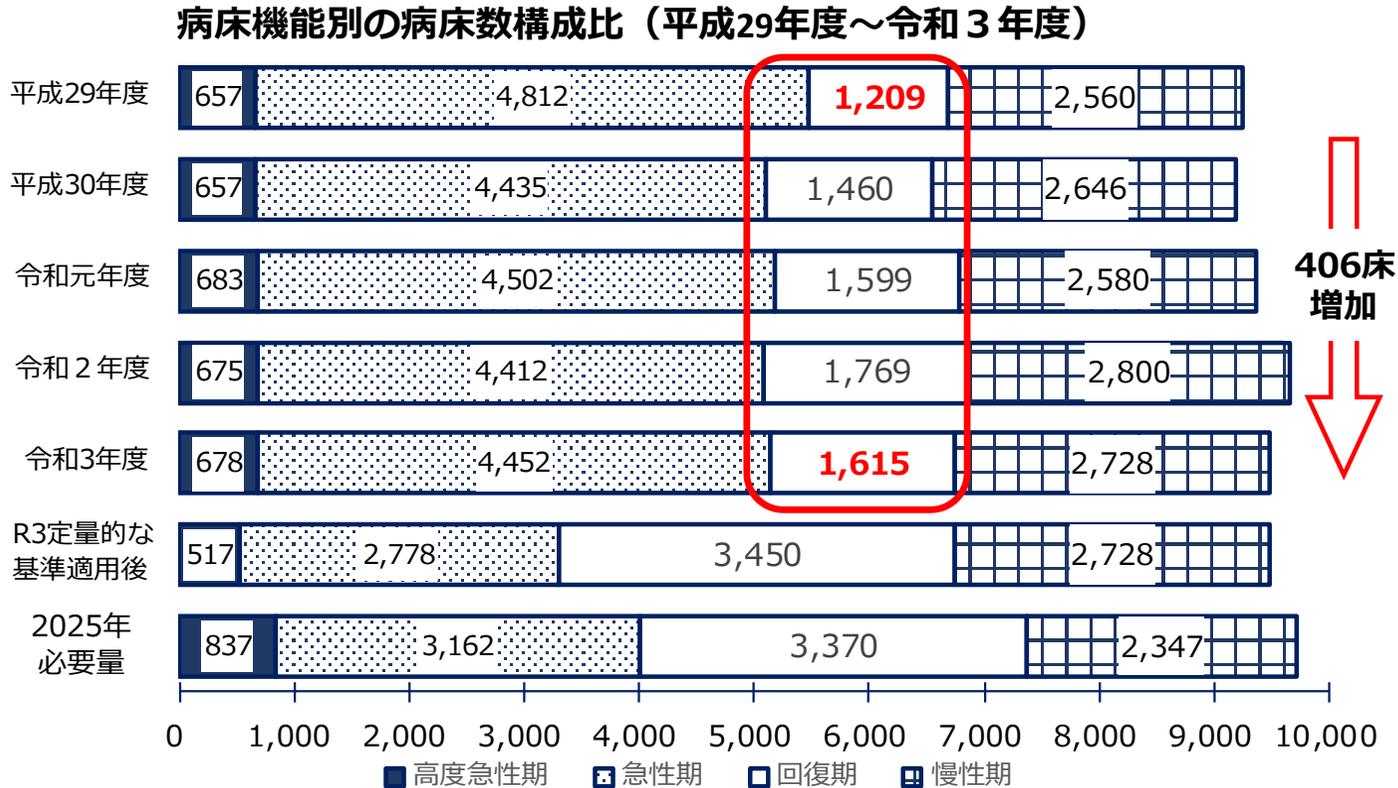
注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

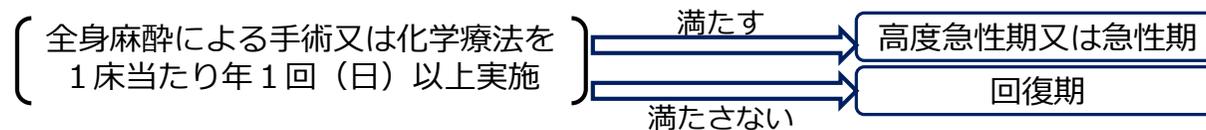
【区東北部】 病床の機能分化の進捗状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和3年度では 406床増



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



(出所) 病床機能報告より作成

【区東北部】一般病床及び療養病床の状況

一般病床

療養病床

救命救急入院料

入院料 2 0施設 0床 入院料 1 1施設 20床
 入院料 4 0施設 0床 入院料 3 0施設 0床

特定集中治療室管理料

管理料 1 1施設 8床
 管理料 2 0施設 0床
 管理料 3 5施設 38床
 管理料 4 0施設 0床

ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料 1 6施設 68床
 管理料 2 0施設 0床

小児特定集中 治療室管理料

0施設 0床

脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

3施設 23床

総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 0施設 0床
 新生児 0施設 0床

新生児特定集中治療室 管理料

管理料 1 2施設 21床
 管理料 2 0施設 0床

新生児治療回復室 入院医療管理料

2施設 42床

特定機能病院入院基本料

7対1 0施設 0床

専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

急性期一般入院料 1

12施設 1,878床

12施設1,878床

急性期一般入院料 2～7

28施設 1,847床

地域一般入院料

入院料1・2 12施設 544床
 入院料 3 6施設 252床

小児入院医療管理料

入院料 1 1施設 37床
 入院料 2 1施設 30床
 入院料 3 0施設 0床
 入院料 4 2施設 36床

回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 10施設 805床 入院料 4 0施設 0床
 入院料 2 0施設 0床 入院料 5 0施設 0床
 入院料 3 4施設 148床 入院料 6 1施設 42床

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 12施設 406床 入院料 3 1施設 30床
 入院料 2 13施設 239床 入院料 4 1施設 28床

緩和ケア病棟入院料

入院料 1 0施設 0床
 入院料 2 0施設 0床

療養病棟入院基本料

基本料 1 24施設 1,605床
 基本料 2 1施設 57床

障害者施設等入院基本料

入院料 1 0施設 0床
 入院料 2 8施設 412床
 入院料 3 3施設 226床
 入院料 4 2施設 135床

特殊疾患病棟入院料

1施設 51床

有床診療所入院基本料

20施設 292床

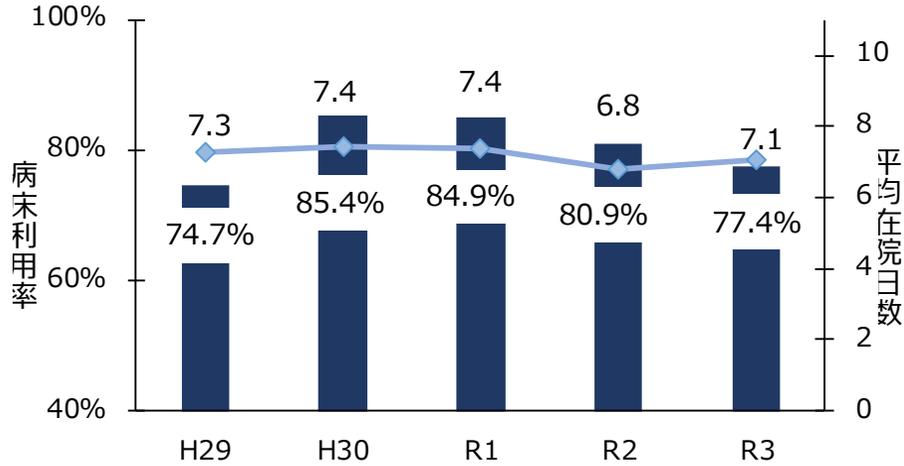
有床診療所療養病床入院基本料

2施設 26床

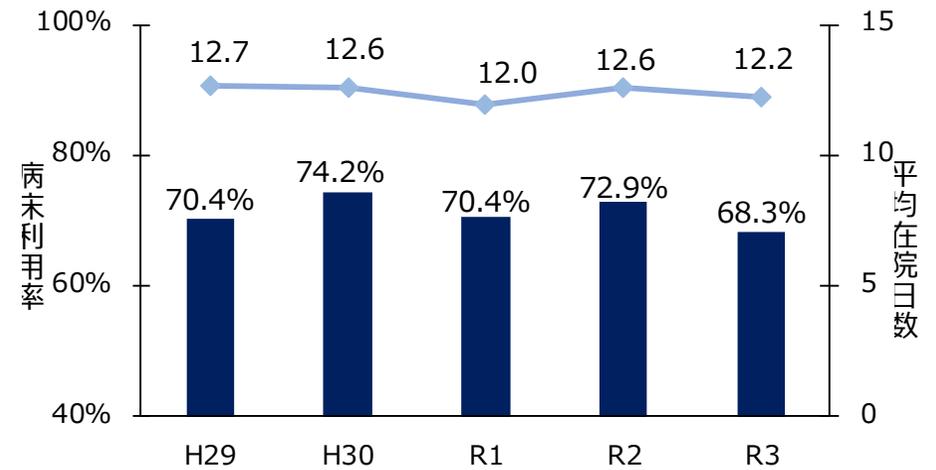
DPC/PDCS 12施設 2,466床

【区東北部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

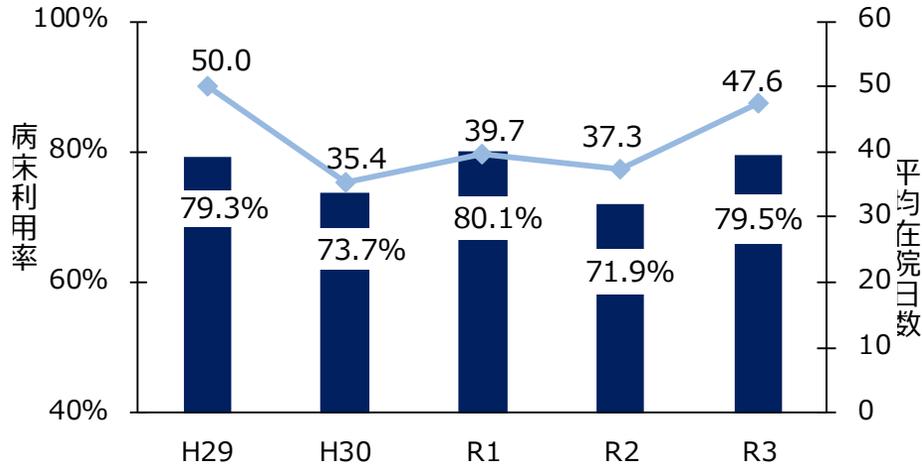
高度急性期



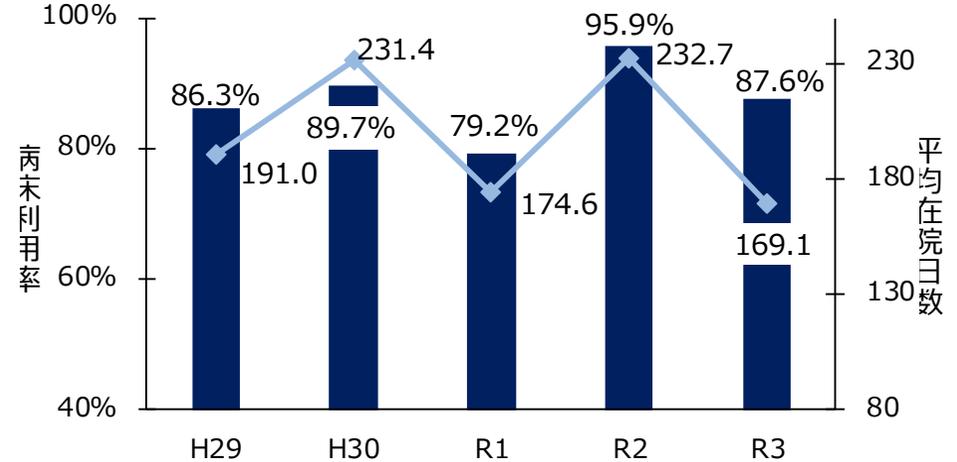
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度報告は、令和2年4月1日～令和3年3月31日の数値

$$\text{病床利用率} = \frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$$

$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$$

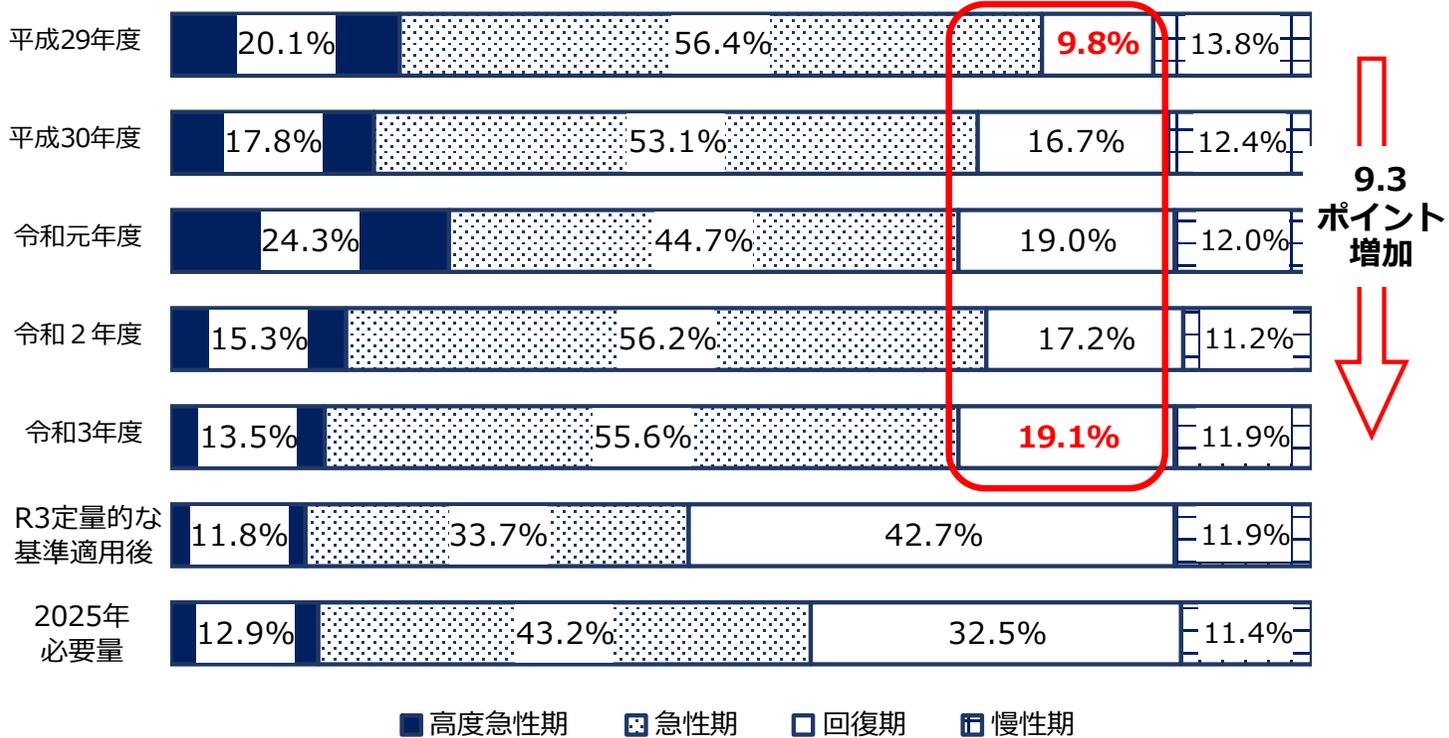
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数（右軸）

（出所）病床機能報告より作成

【区東部】病床の機能分化の進捗状況①

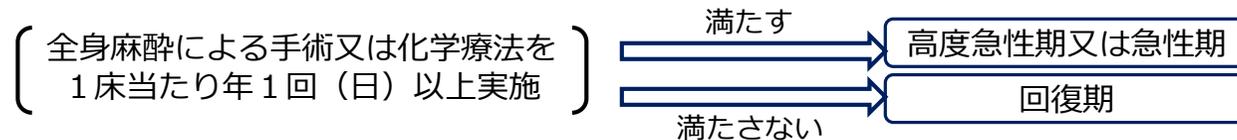
- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和3年度では9.3ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

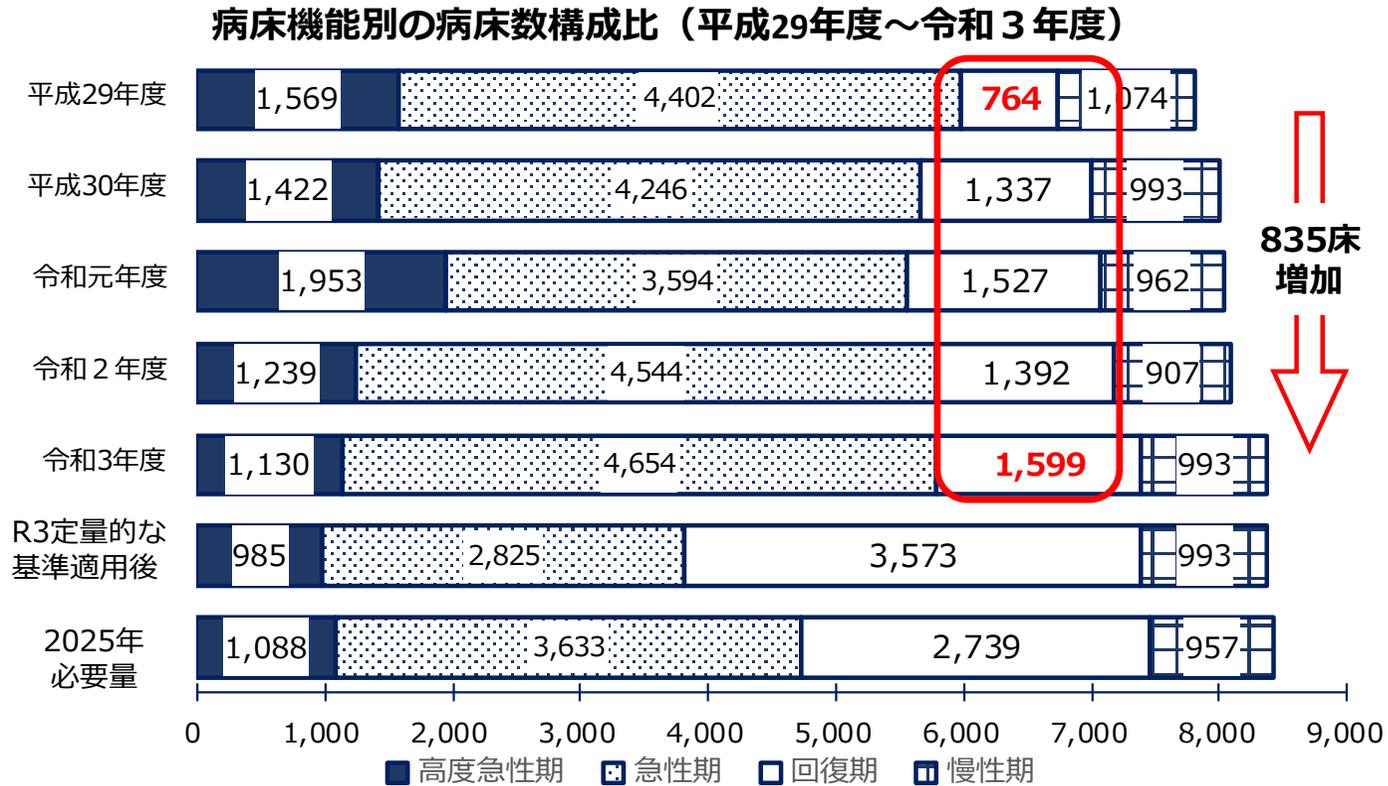
注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

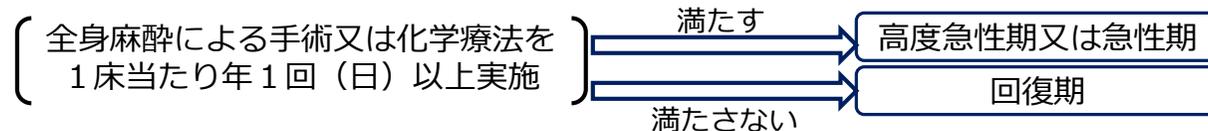
【区東部】 病床の機能分化の進捗状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和3年度では 835床増



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

【区東部】 一般病床及び療養病床の状況

一般病床

療養病床

救命救急入院料

入院料 2 0施設 0床 入院料 1 1施設 12床
 入院料 4 1施設 12床 入院料 3 0施設 0床

特定機能病院入院基本料

7対1 1施設 609床

専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

急性期一般入院料 1

14施設 3,227床

15施設 3,836床

回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 5施設 628床 入院料 4 0施設 0床
 入院料 2 0施設 0床 入院料 5 1施設 31床
 入院料 3 3施設 109床 入院料 6 1施設 48床

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 8施設 376床 入院料 3 1施設 28床
 入院料 2 8施設 263床 入院料 4 1施設 15床

特定集中治療室管理料

管理料 1 2施設 28床
 管理料 2 0施設 0床
 管理料 3 3施設 26床
 管理料 4 0施設 0床

ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料 1 5施設 73床
 管理料 2 0施設 0床

小児特定集中 治療室管理料

0施設 0床

脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

2施設 15床

急性期一般入院料 2～7

17施設 871床

地域一般入院料

入院料 1・2 5施設 332床
 入院料 3 4施設 145床

緩和ケア病棟入院料

入院料 1 2施設 47床
 入院料 2 0施設 0床

総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 1施設 9床
 新生児 1施設 16床

新生児特定集中治療室 管理料

管理料 1 1施設 15床
 管理料 2 1施設 6床

新生児治療回復室 入院医療管理料

1施設 33床

小児入院医療管理料

入院料 1 0施設 0床
 入院料 2 3施設 102床
 入院料 3 0施設 0床
 入院料 4 0施設 0床

障害者施設等入院基本料

入院料 1 1施設 120床
 入院料 2 1施設 60床
 入院料 3 0施設 0床
 入院料 4 2施設 61床

療養病棟入院基本料

基本料 1 9施設 527床
 基本料 2 2施設 99床

DPC/PDCS 16施設 4,281床

特殊疾患病棟入院料

0施設 0床

有床診療所入院基本料

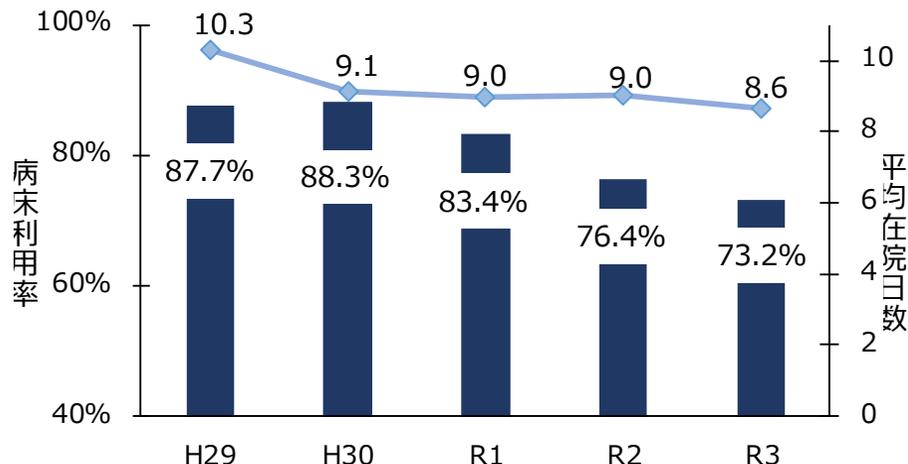
18施設 254床

有床診療所療養病床入院基本料

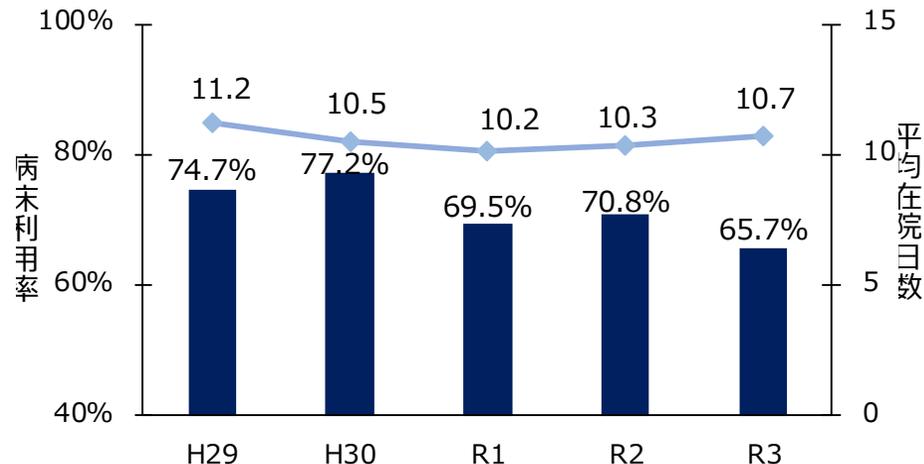
1施設 15床

【区東部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

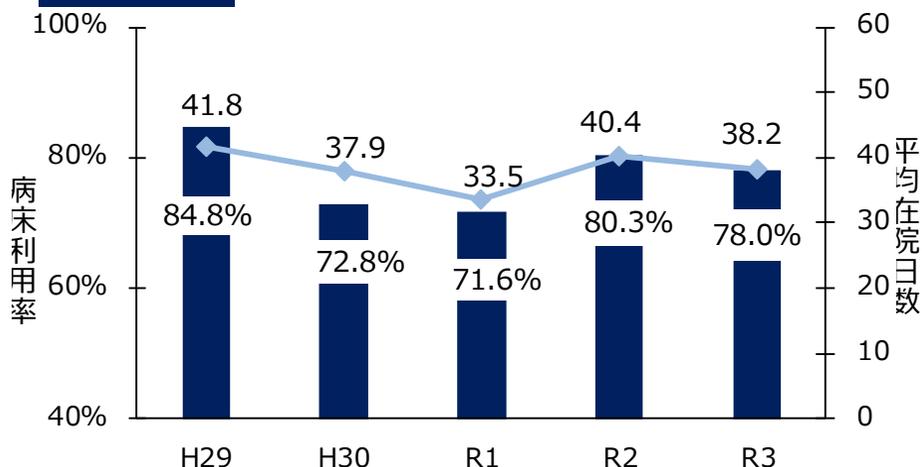
高度急性期



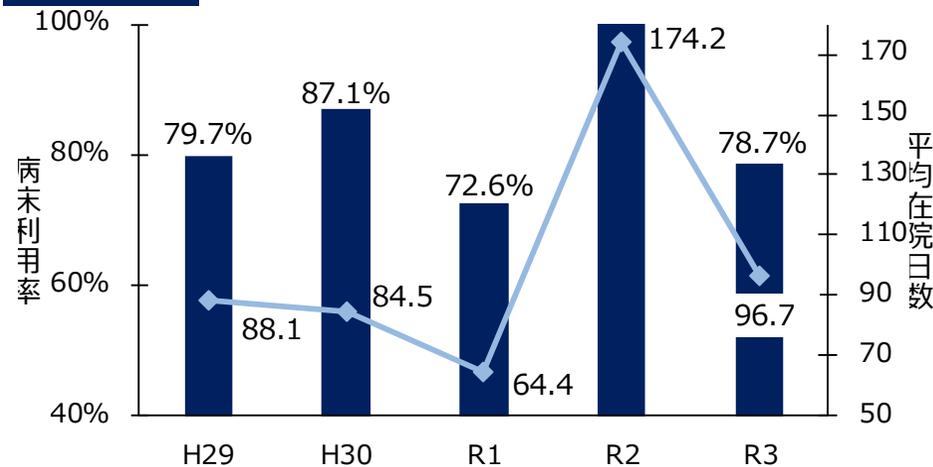
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度報告は、令和2年4月1日～令和3年3月31日の数値

$$\text{病床利用率} = \frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数} \times \text{年間日数）}} \times 100$$

$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$$

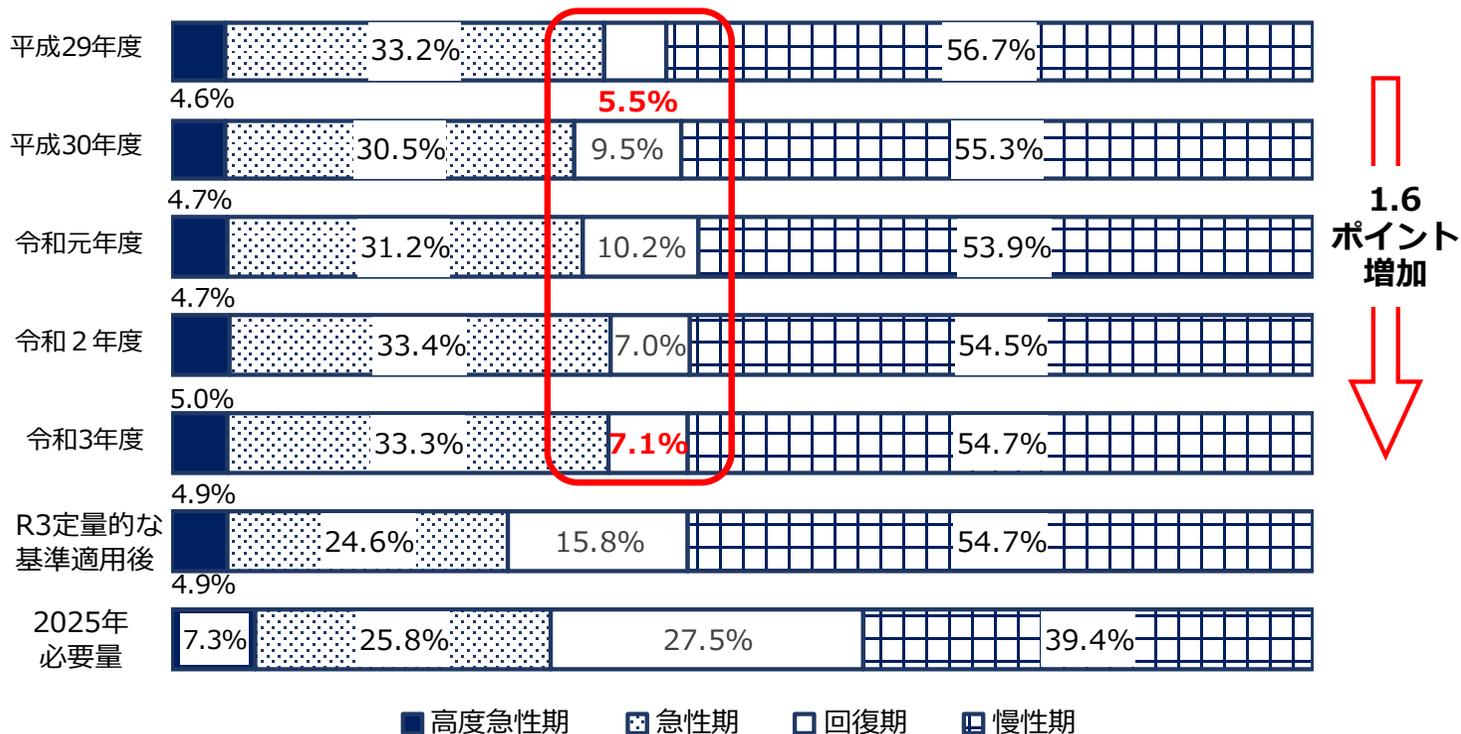
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数（右軸）

（出所）病床機能報告より作成

【西多摩】 病床の機能分化の進捗状況①

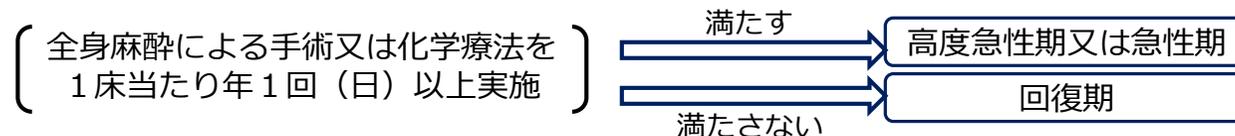
- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和3年度では 1.6ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

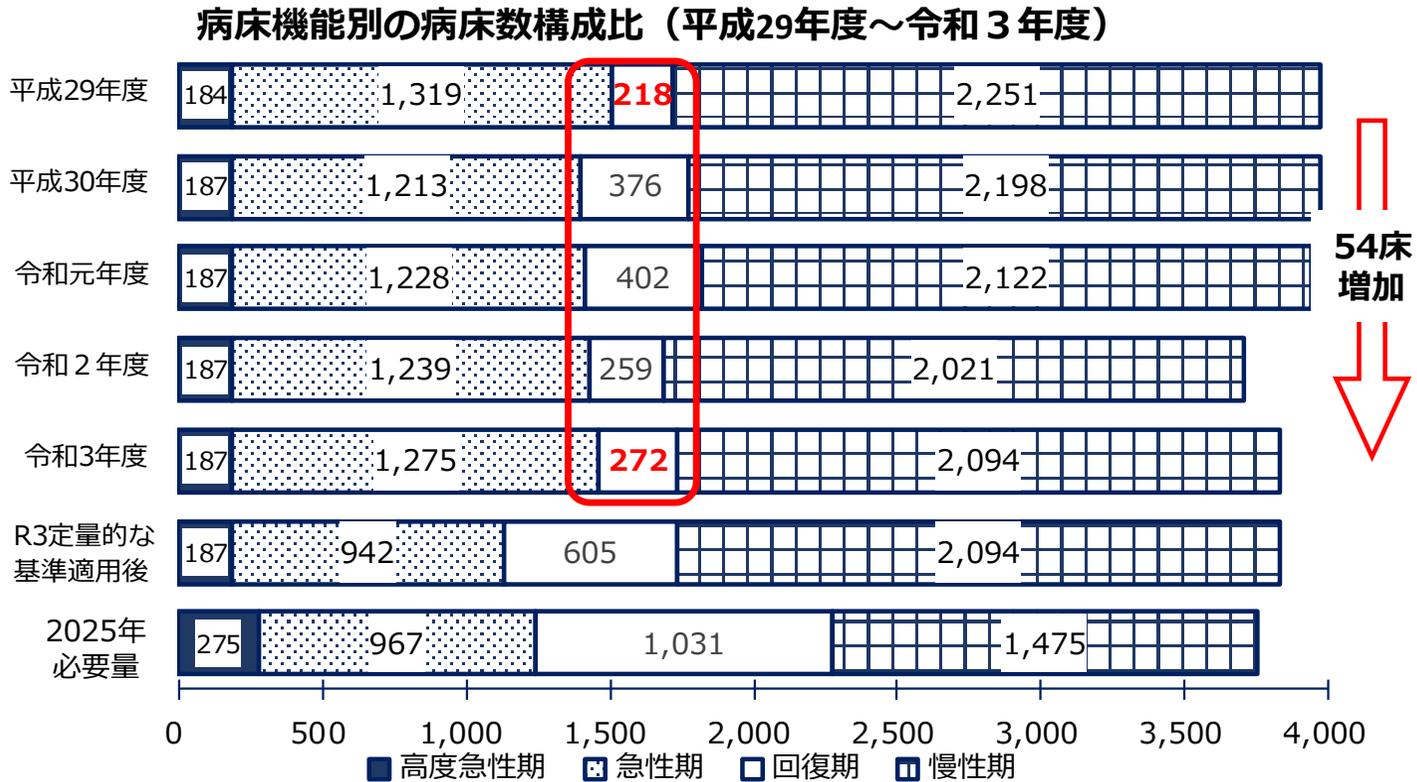
注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

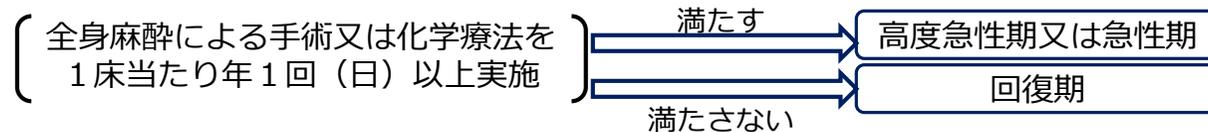
【西多摩】 病床の機能分化の進捗状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和3年度では 54床増



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

【西多摩】 一般病床及び療養病床の状況

一般病床

救命救急入院料

入院料 2 0施設 0床 入院料 1 1施設 22床
 入院料 4 0施設 0床 入院料 3 0施設 0床

特定集中治療室管理料

管理料 1 0施設 0床
 管理料 2 0施設 0床
 管理料 3 1施設 8床
 管理料 4 0施設 0床

ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料 1 1施設 40床
 管理料 2 1施設 40床

小児特定集中 治療室管理料

0施設 0床

脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

0施設 0床

総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 0施設 0床
 新生児 0施設 0床

新生児特定集中治療室 管理料

管理料 1 0施設 0床
 管理料 2 0施設 0床

新生児治療回復室 入院医療管理料

0施設 0床

特定機能病院入院基本料

7対1 0施設 0床

専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

急性期一般入院料 1

3施設 716床

3施設716床

急性期一般入院料 2～7

3施設 296床

地域一般入院料

入院料 1・2 2施設 77床
 入院料 3 0施設 0床

小児入院医療管理料

入院料 1 0施設 0床
 入院料 2 0施設 0床
 入院料 3 0施設 0床
 入院料 4 1施設 16床

DPC/PDCS 4施設962床

療養病床

回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 1施設 83床 入院料 4 0施設 0床
 入院料 2 1施設 50床 入院料 5 0施設 0床
 入院料 3 2施設 61床 入院料 6 0施設 0床

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 3施設 118床 入院料 3 0施設 0床
 入院料 2 1施設 43床 入院料 4 0施設 0床

緩和ケア病棟入院料

入院料 1 1施設 16床
 入院料 2 1施設 16床

療養病棟入院基本料

基本料 1 8施設 574床
 基本料 2 5施設 849床

障害者施設等入院基本料

入院料 1 0施設 0床
 入院料 2 2施設 120床
 入院料 3 0施設 0床
 入院料 4 0施設 0床

特殊疾患病棟入院料

0施設 0床

有床診療所入院基本料

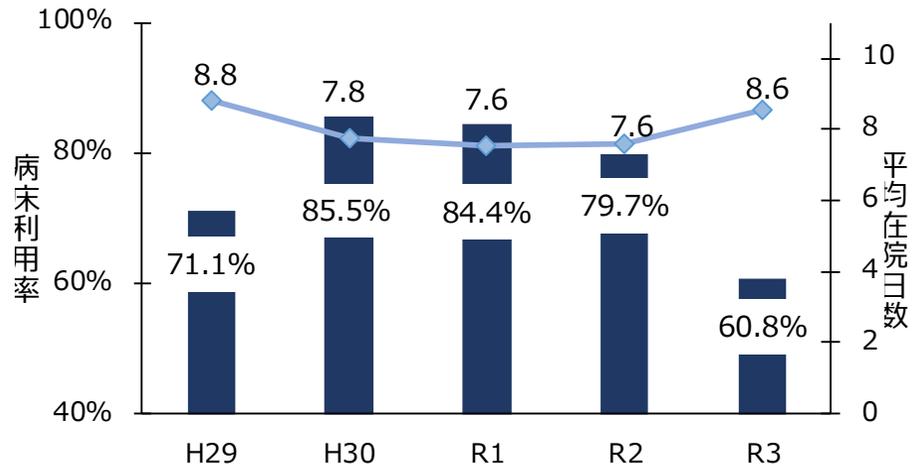
6施設 74床

有床診療所療養病床入院基本料

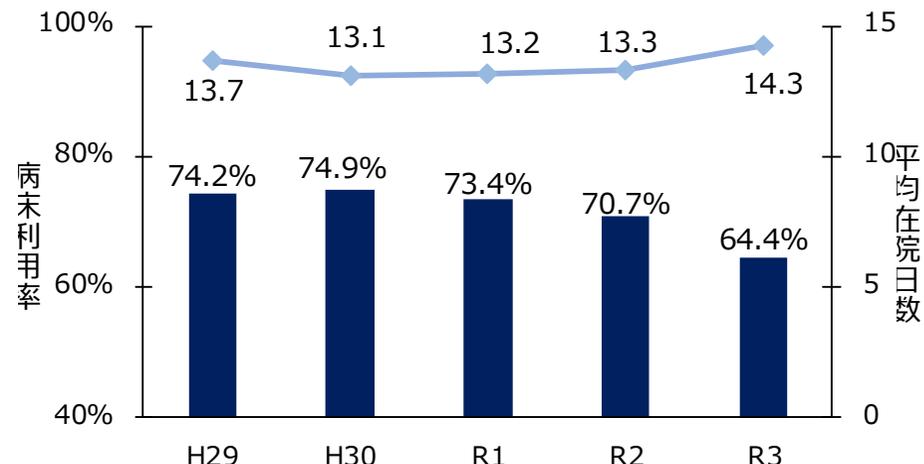
1施設 19床

【西多摩】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

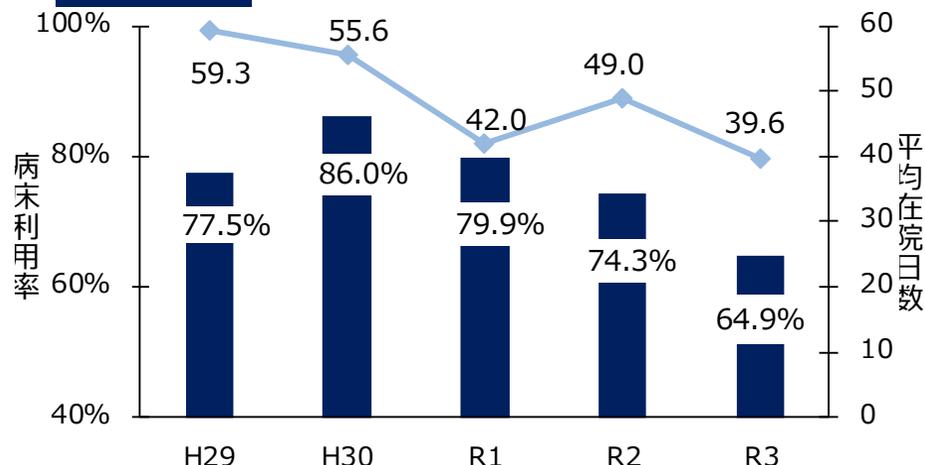
高度急性期



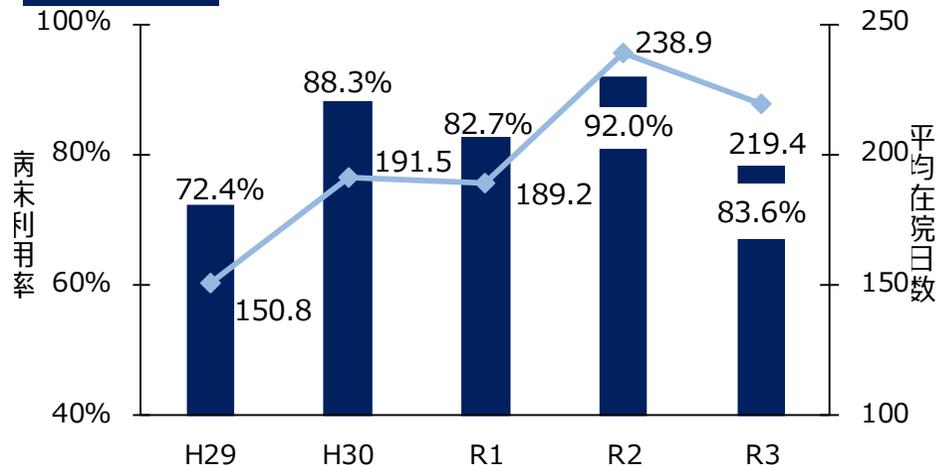
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度報告は、令和2年4月1日～令和3年3月31日の数値

$$\text{病床利用率} = \frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数} \times \text{年間日数）}} \times 100$$

$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$$

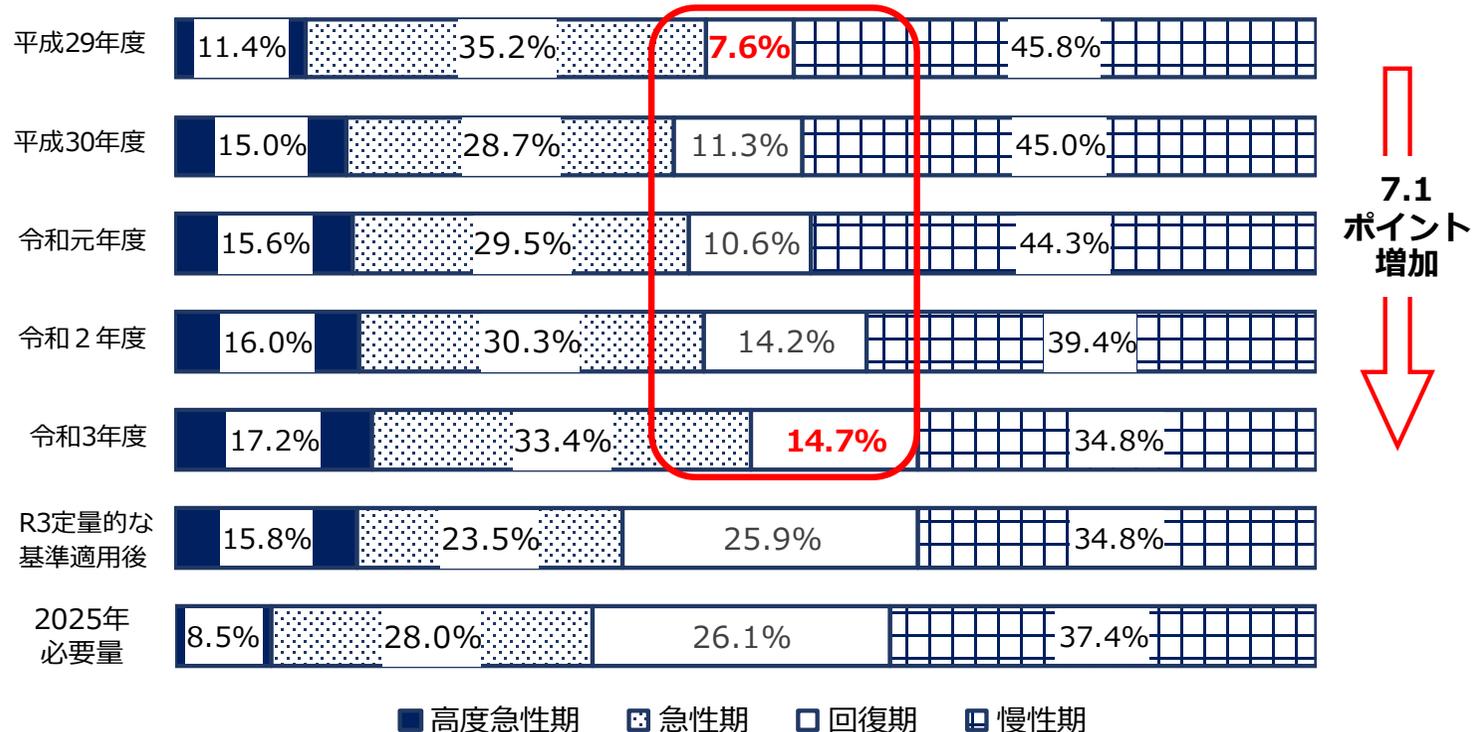
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数（右軸）

（出所）病床機能報告より作成

【南多摩】 病床の機能分化の進捗状況①

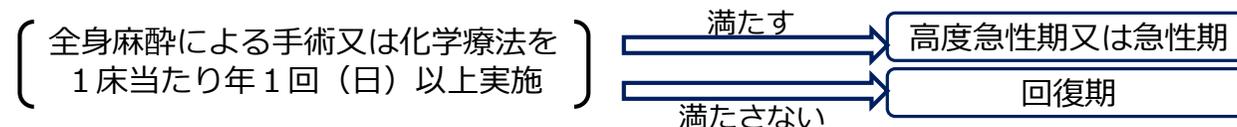
- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和3年度では 7.1ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

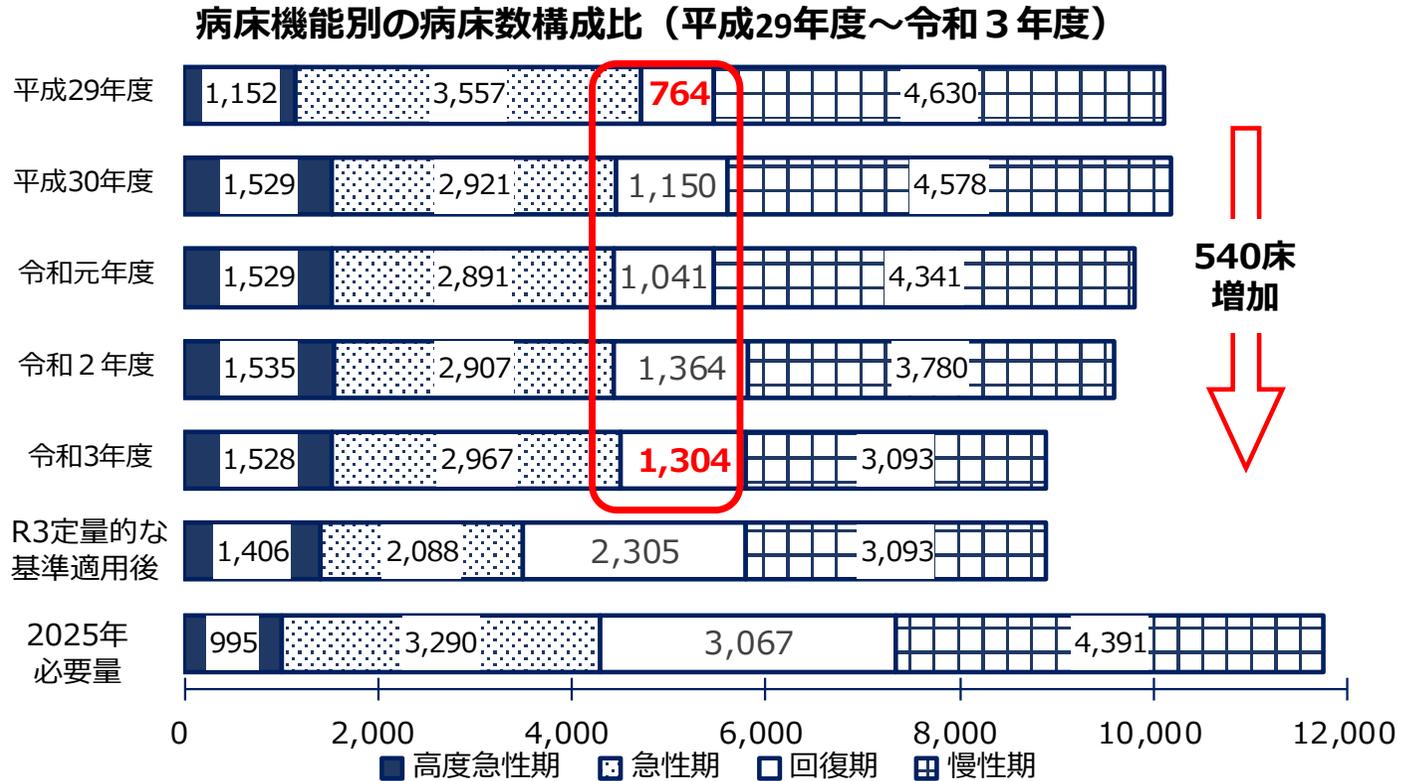
注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

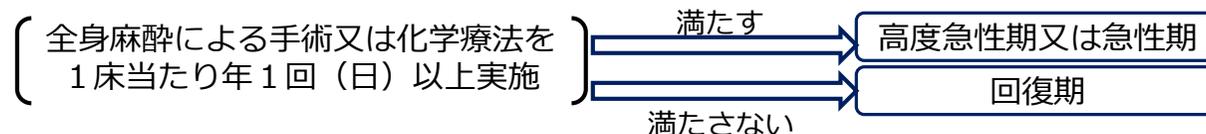
【南多摩】 病床の機能分化の進捗状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和3年度では 540床増



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



(出所) 病床機能報告より作成

【南多摩】 一般病床及び療養病床の状況

一般病床

療養病床

救命救急入院料

入院料 2 0施設 0床 入院料 1 2施設 37床
 入院料 4 2施設 22床 入院料 3 0施設 0床

特定集中治療室管理料

管理料 1 0施設 0床
 管理料 2 1施設 6床
 管理料 3 3施設 30床
 管理料 4 0施設 0床

ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料 1 4施設 39床
 管理料 2 1施設 25床

小児特定集中 治療室管理料

0施設 0床

脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

0施設 0床

総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 0施設 0床
 新生児 0施設 0床

新生児特定集中治療室 管理料

管理料 1 0施設 0床
 管理料 2 1施設 6床

新生児治療回復室 入院医療管理料

0施設 0床

特定機能病院入院基本料

7対1 0施設 0床

専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

急性期一般入院料 1

11施設 2,546床

11施設2,546床

急性期一般入院料 2～7

14施設 875床

地域一般入院料

入院料1・2 1施設 35床
 入院料 3 2施設 76床

小児入院医療管理料

入院料 1 0施設 0床
 入院料 2 0施設 0床
 入院料 3 3施設 93床
 入院料 4 4施設 57床

回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 10施設 548床 入院料 4 1施設 30床
 入院料 2 1施設 39床 入院料 5 0施設 0床
 入院料 3 1施設 94床 入院料 6 0施設 0床

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 10施設 438床 入院料 3 0施設 0床
 入院料 2 5施設 171床 入院料 4 0施設 0床

緩和ケア病棟入院料

入院料 1 1施設 11床
 入院料 2 3施設 59床

療養病棟入院基本料

基本料 1 22施設 1,858床
 基本料 2 2施設 273床

障害者施設等入院基本料

入院料 1 0施設 0床
 入院料 2 8施設 713床
 入院料 3 1施設 60床
 入院料 4 1施設 199床

特殊疾患病棟入院料

1施設 48床

有床診療所入院基本料

23施設 310床

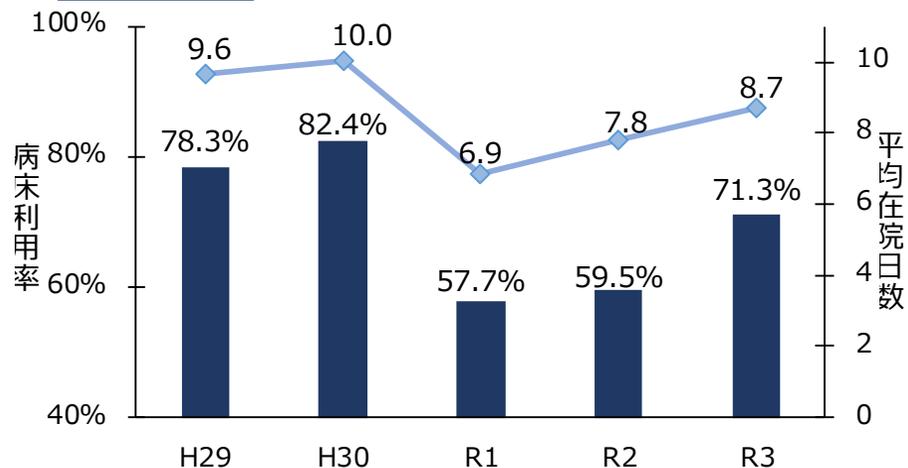
有床診療所療養病床入院基本料

0施設 0床

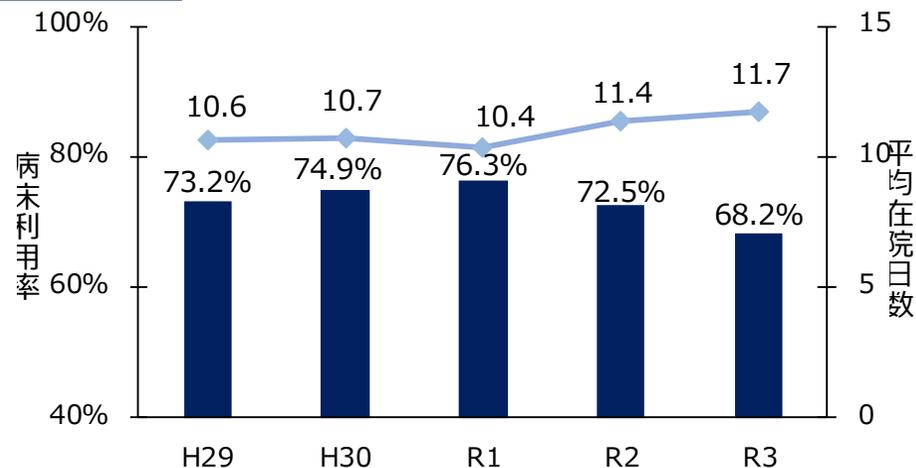
DPC/PDCS 10施設2,811床

【南多摩】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

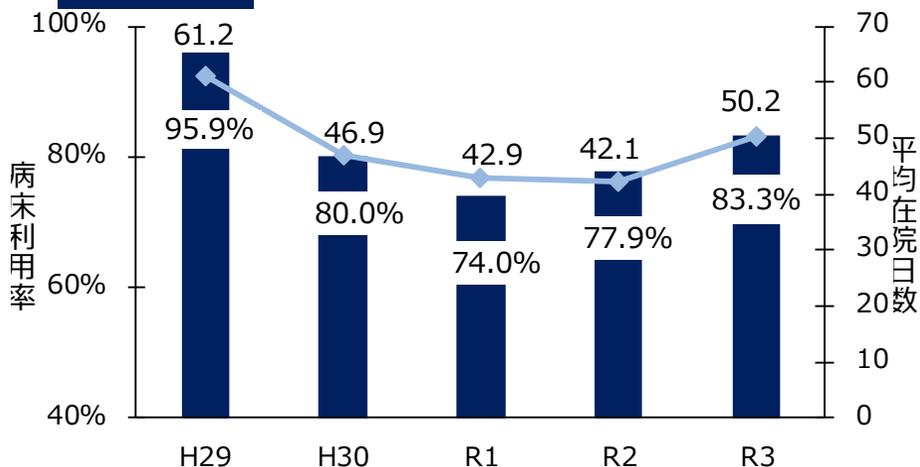
高度急性期



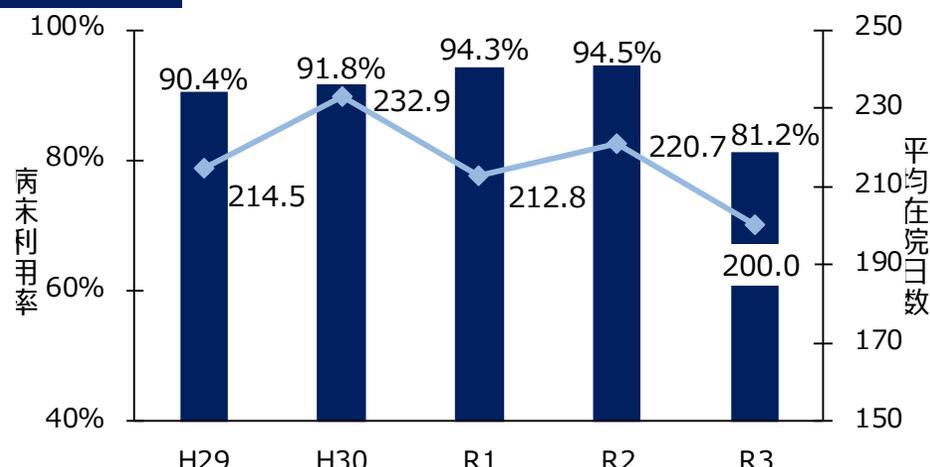
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度報告は、令和2年4月1日～令和3年3月31日の数値

$$\text{病床利用率} = \frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数} \times \text{年間日数）}} \times 100$$

$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$$

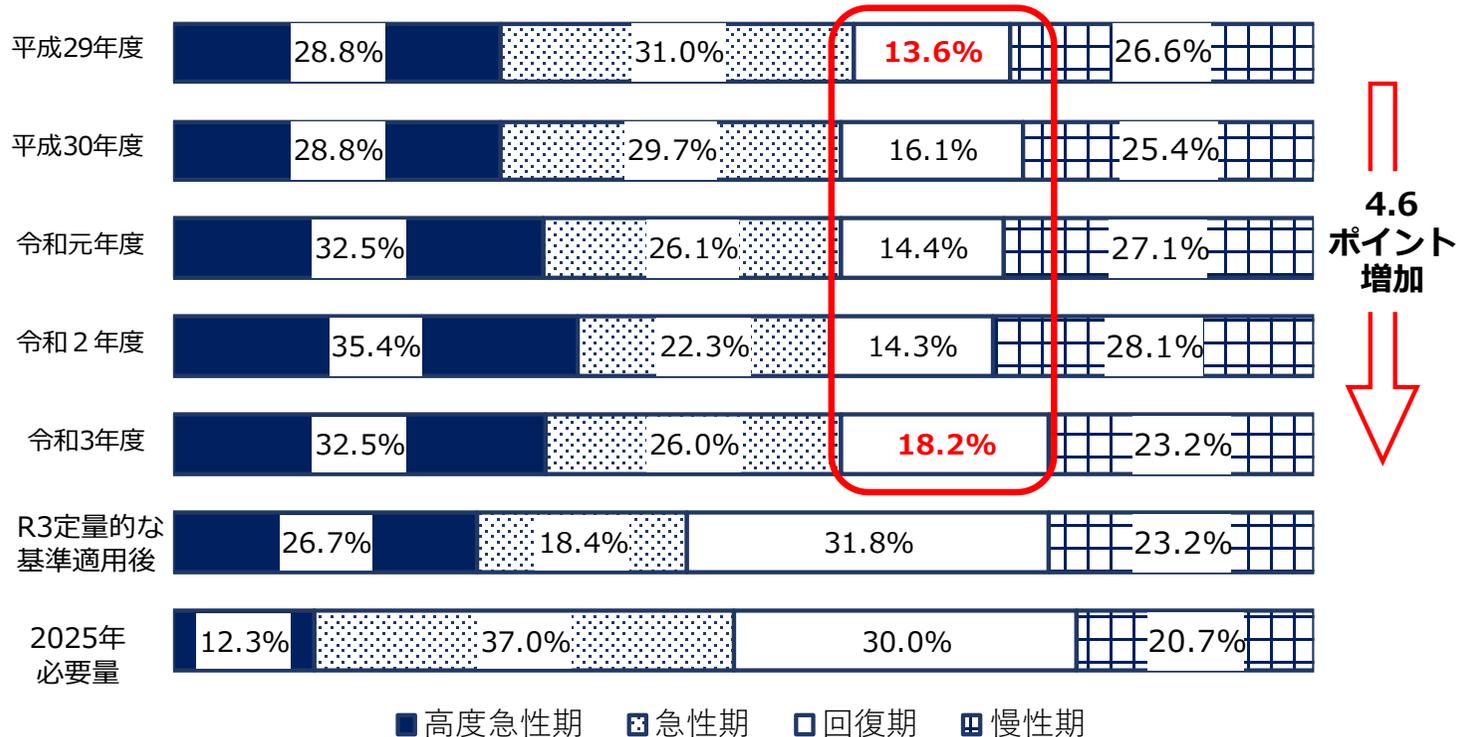
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数（右軸）

（出所）病床機能報告より作成

【北多摩西部】 病床の機能分化の進捗状況①

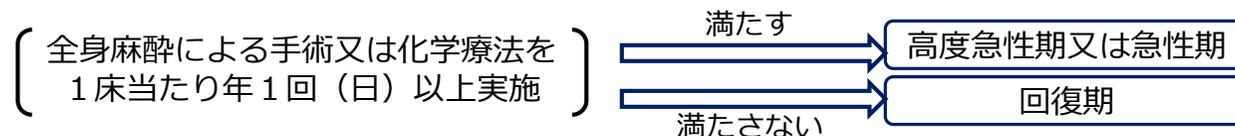
- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和3年度では 4.6ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

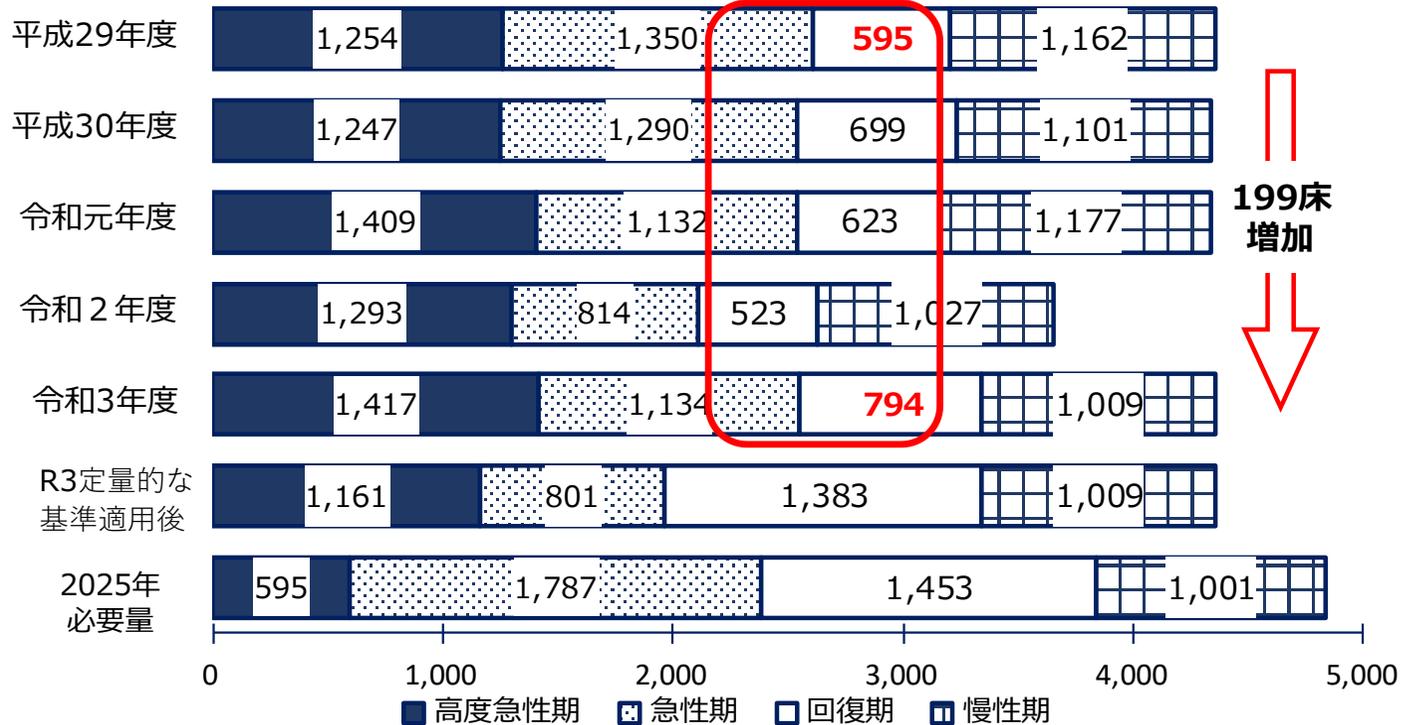


（出所）病床機能報告より作成

【北多摩西部】 病床の機能分化の進捗状況②

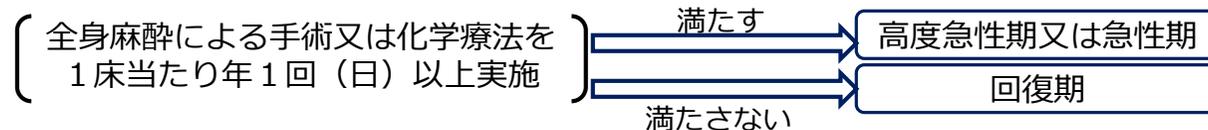
・回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和3年度では 199床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

【北多摩西部】一般病床及び療養病床の状況

一般病床

療養病床

救命救急入院料

入院料 2 1施設 14床 入院料 1 1施設 22床
入院料 4 0施設 0床 入院料 3 0施設 0床

特定集中治療室管理料

管理料 1 0施設 0床
管理料 2 0施設 0床
管理料 3 3施設 19床
管理料 4 0施設 0床

ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料 1 6施設 88床
管理料 2 0施設 0床

特定機能病院入院基本料

7対1 0施設 0床

専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

急性期一般入院料 1

6施設 1,674床

6施設1,674床

急性期一般入院料 2～7

6施設 449床

地域一般入院料

入院料 1・2 1施設 44床
入院料 3 0施設 0床

小児入院医療管理料

入院料 1 0施設 0床
入院料 2 0施設 0床
入院料 3 1施設 24床
入院料 4 2施設 43床

回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 5施設 214床 入院料 4 0施設 0床
入院料 2 0施設 0床 入院料 5 0施設 0床
入院料 3 2施設 126床 入院料 6 0施設 0床

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 4施設 143床 入院料 3 0施設 0床
入院料 2 4施設 178床 入院料 4 0施設 0床

小児特定集中 治療室管理料

0施設 0床

脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

2施設 15床

総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 0施設 0床
新生児 0施設 0床

新生児特定集中治療室 管理料

管理料 1 0施設 0床
管理料 2 1施設 6床

新生児治療回復室 入院医療管理料

0施設 0床

緩和ケア病棟入院料

入院料 1 0施設 0床
入院料 2 0施設 0床

療養病棟入院基本料

基本料 1 9施設 673床
基本料 2 0施設 0床

障害者施設等入院基本料

入院料 1 0施設 0床
入院料 2 3施設 332床
入院料 3 0施設 0床
入院料 4 0施設 0床

特殊疾患病棟入院料

1施設 32床

有床診療所入院基本料

5施設 57床

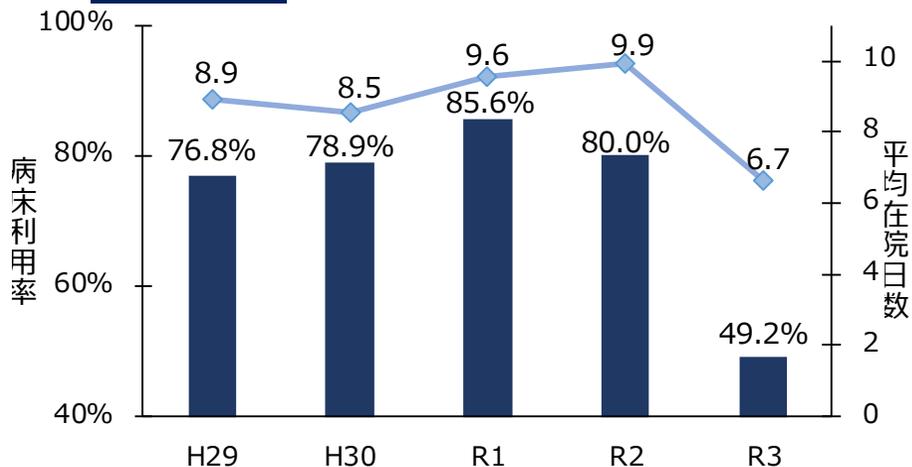
有床診療所療養病床入院基本料

0施設 0床

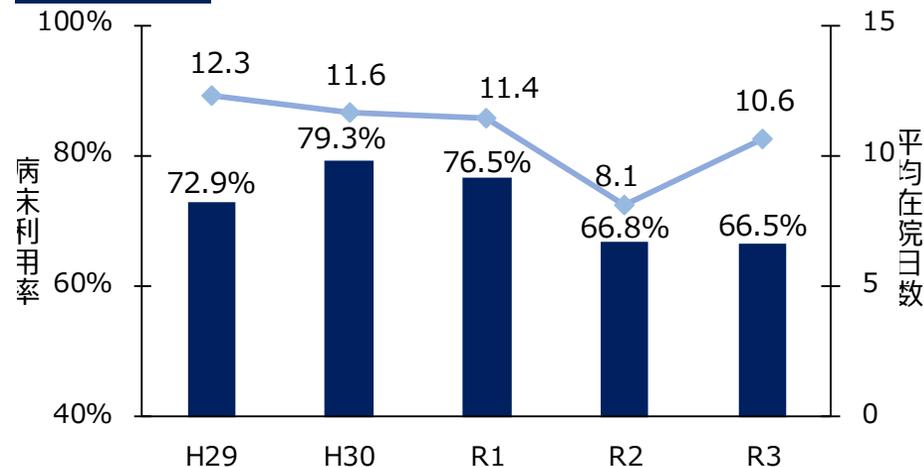
DPC/PDCS 8施設 2,110床

【北多摩西部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

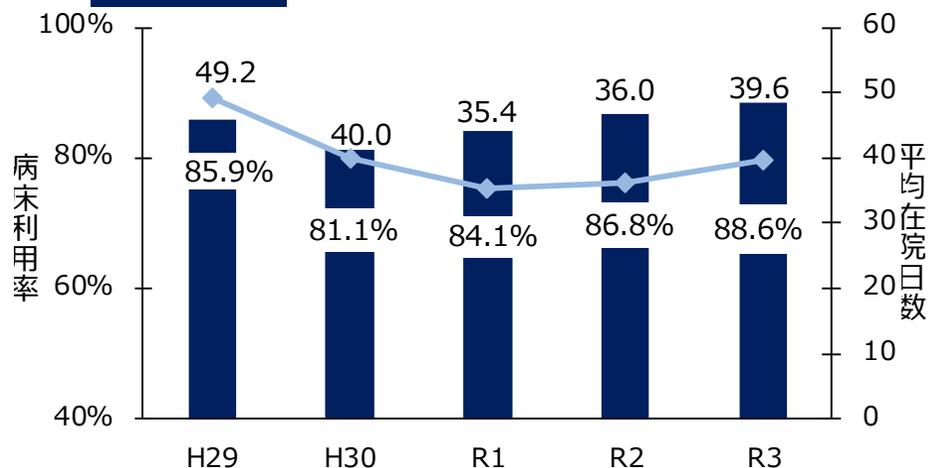
高度急性期



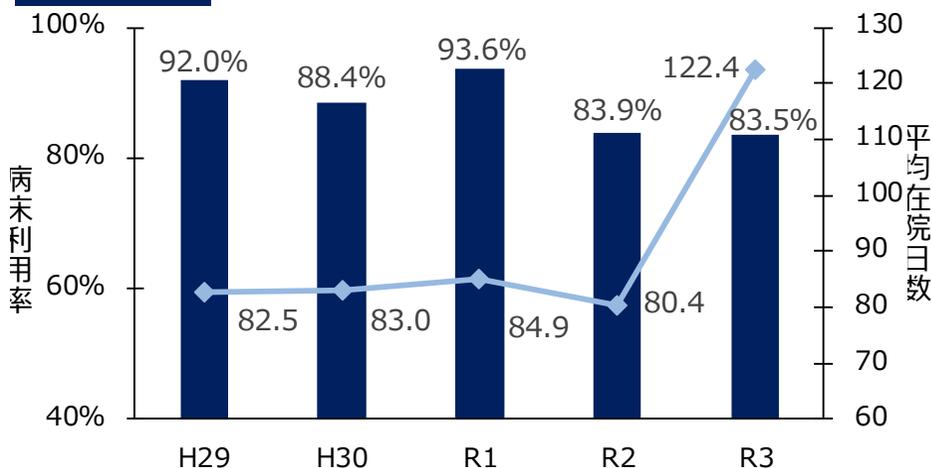
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度報告は、令和2年4月1日～令和3年3月31日の数値

$$\text{病床利用率} = \frac{\text{在棟患者延べ数 (毎日24時現在の在棟患者数 + 毎日の退院患者数)}}{\text{(許可病床数} \times \text{年間日数)}} \times 100$$

$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{在棟患者延べ数 (毎日24時現在の在棟患者数 + 毎日の退院患者数)}}{\text{(新規入棟患者数 + 退棟患者数)} \times 1/2}$$

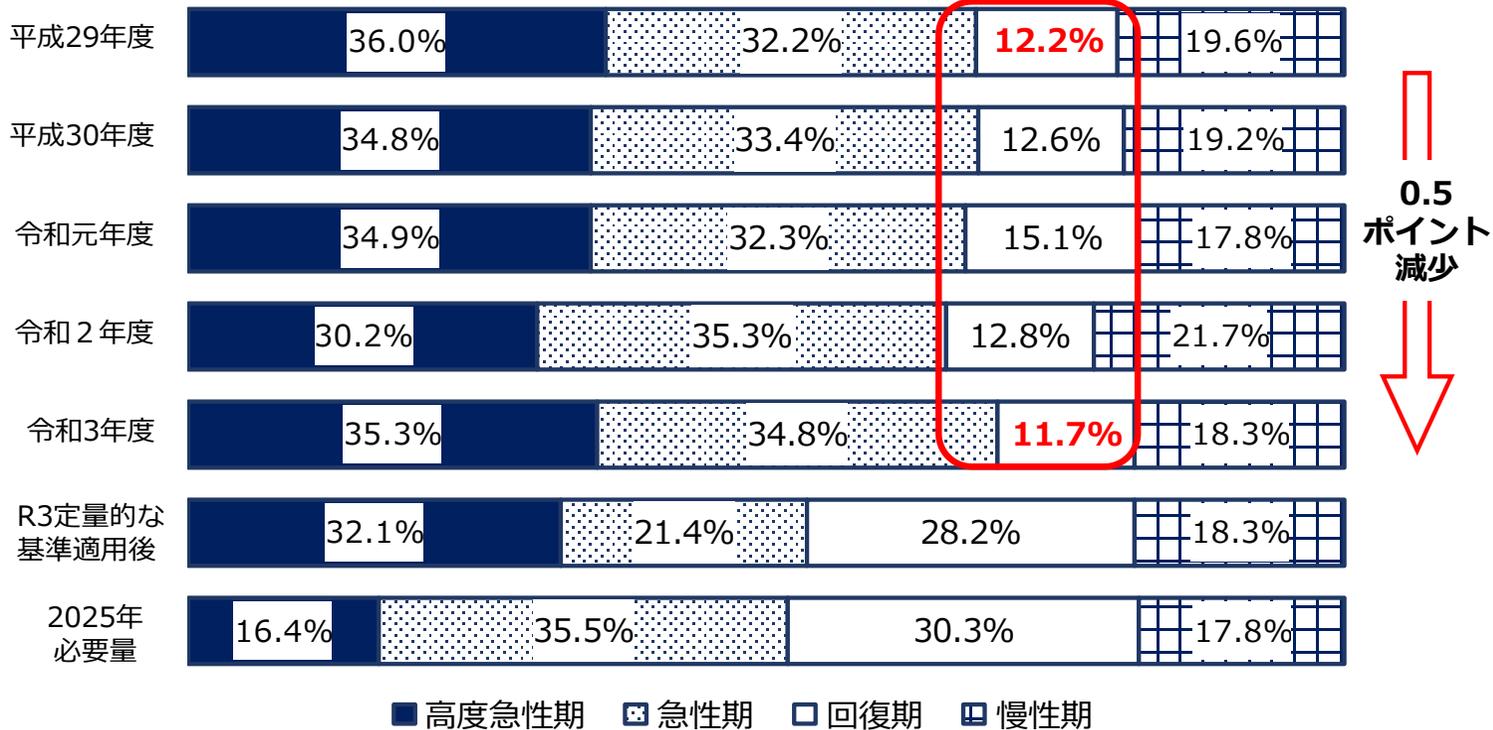
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

【北多摩南部】 病床の機能分化の進捗状況①

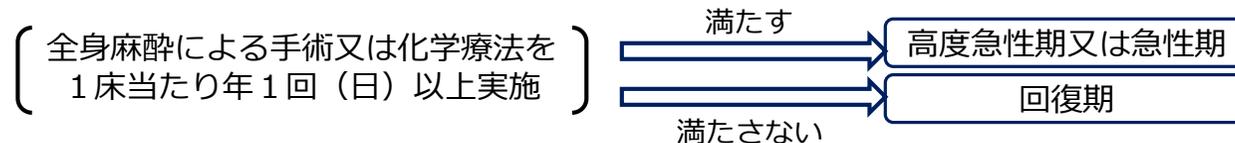
- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和3年度まで、ほぼ横ばい～微減

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

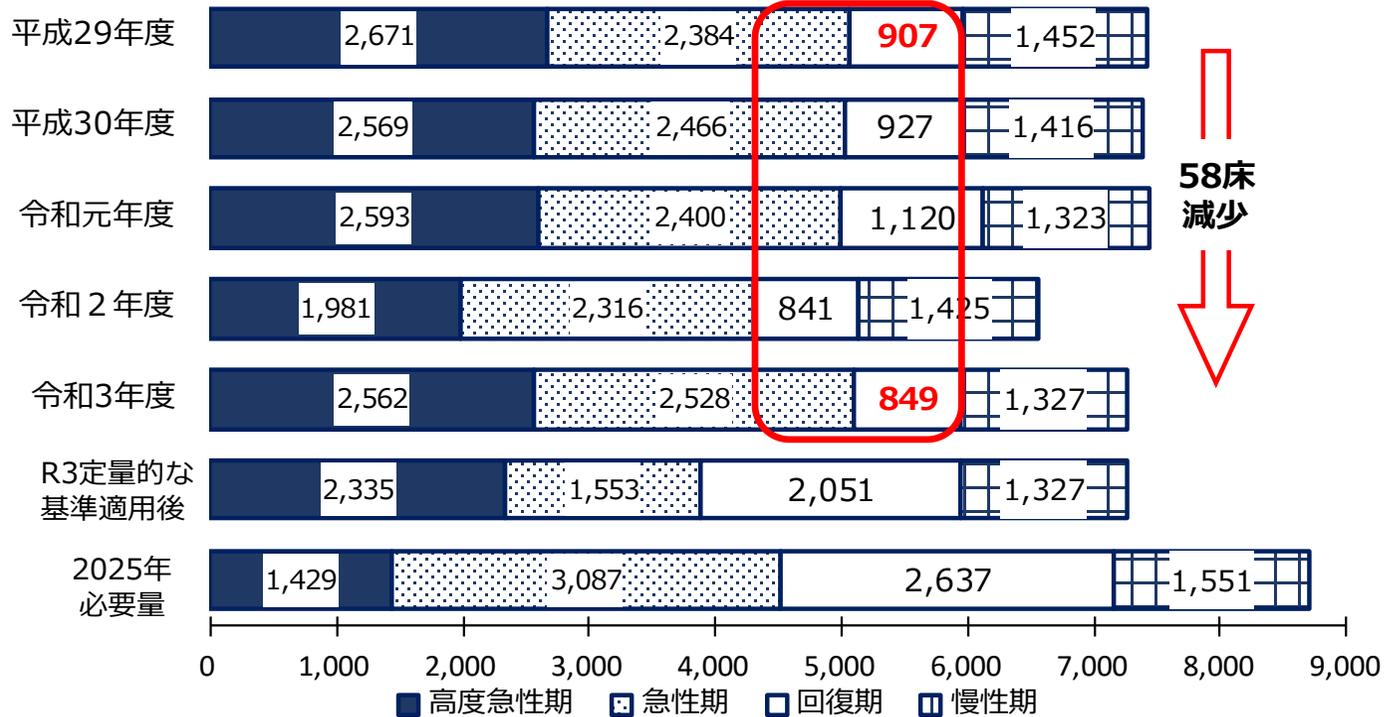


（出所）病床機能報告より作成

【北多摩南部】 病床の機能分化の進捗状況②

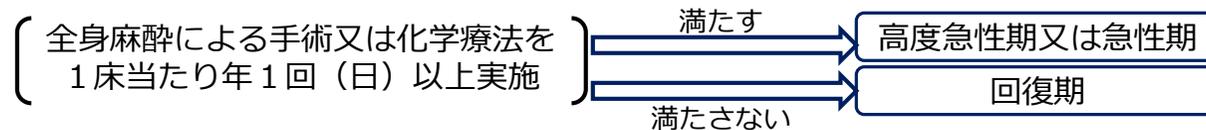
- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和3年度まで、横ばい～微減で推移

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

【北多摩南部】一般病床及び療養病床の状況

一般病床

療養病床

救命救急入院料

入院料 2 1施設 6床 入院料 1 1施設 14床
 入院料 4 2施設 38床 入院料 3 1施設 22床

特定集中治療室管理料

管理料 1 3施設 68床
 管理料 2 0施設 0床
 管理料 3 4施設 32床
 管理料 4 0施設 0床

ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料 1 3施設 50床
 管理料 2 1施設 10床

小児特定集中 治療室管理料

1施設 20床

脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

2施設 19床

総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 2施設 21床
 新生児 2施設 39床

新生児特定集中治療室 管理料

管理料 1 2施設 12床
 管理料 2 0施設 0床

新生児治療回復室 入院医療管理料

3施設 84床

特定機能病院入院基本料

7対1 1施設 827床

専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

急性期一般入院料 1

11施設 2,304床

12施設3,131床

急性期一般入院料 2～7

9施設 669床

地域一般入院料

入院料 1・2 1施設 35床
 入院料 3 3施設 117床

小児入院医療管理料

入院料 1 2施設 274床
 入院料 2 2施設 85床
 入院料 3 1施設 32床
 入院料 4 1施設 10床

回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 5施設 417床 入院料 4 0施設 0床
 入院料 2 0施設 0床 入院料 5 0施設 0床
 入院料 3 2施設 73床 入院料 6 0施設 0床

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 6施設 195床 入院料 3 0施設 0床
 入院料 2 3施設 78床 入院料 4 1施設 21床

緩和ケア病棟入院料

入院料 1 1施設 12床
 入院料 2 1施設 20床

療養病棟入院基本料

基本料 1 10施設 534床
 基本料 2 1施設 22床

障害者施設等入院基本料

入院料 1 1施設 260床
 入院料 2 4施設 351床
 入院料 3 0施設 0床
 入院料 4 0施設 0床

特殊疾患病棟入院料

0施設 0床

有床診療所入院基本料

9施設 85床

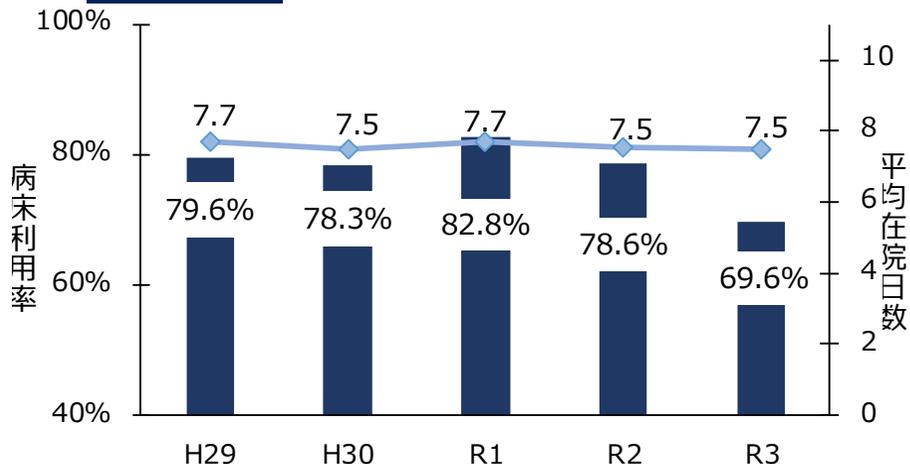
有床診療所療養病床入院基本料

0施設 0床

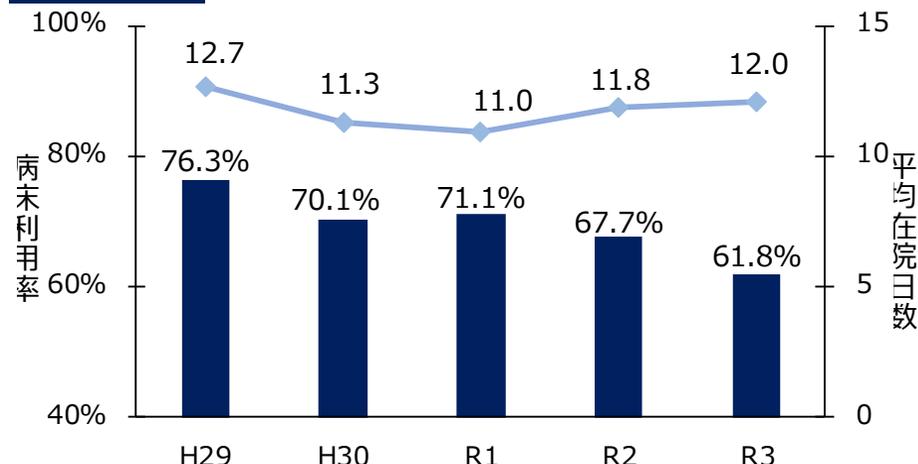
DPC/PDCS 10施設3,819床

【北多摩南部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

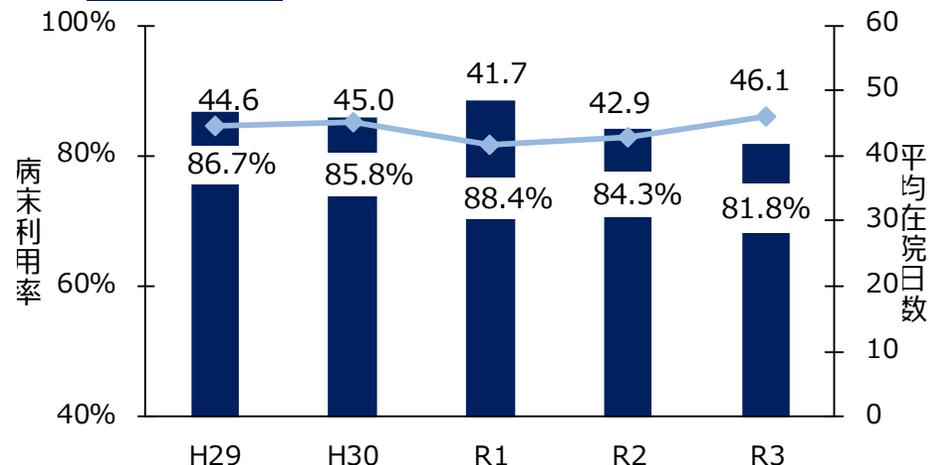
高度急性期



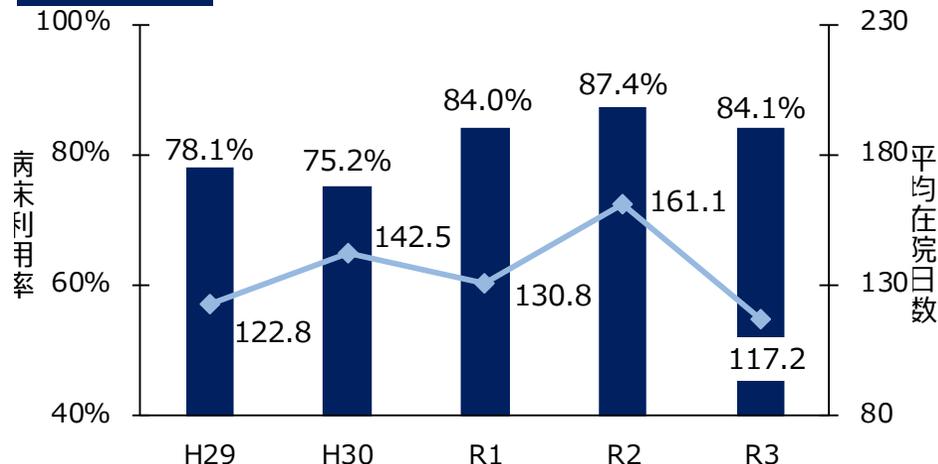
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度報告は、令和2年4月1日～令和3年3月31日の数値

$$\text{病床利用率} = \frac{\text{在棟患者延べ数 (毎日24時現在の在棟患者数 + 毎日の退院患者数)}}{\text{(許可病床数} \times \text{年間日数)}} \times 100$$

$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{在棟患者延べ数 (毎日24時現在の在棟患者数 + 毎日の退院患者数)}}{\text{(新規入棟患者数 + 退棟患者数)} \times 1/2}$$

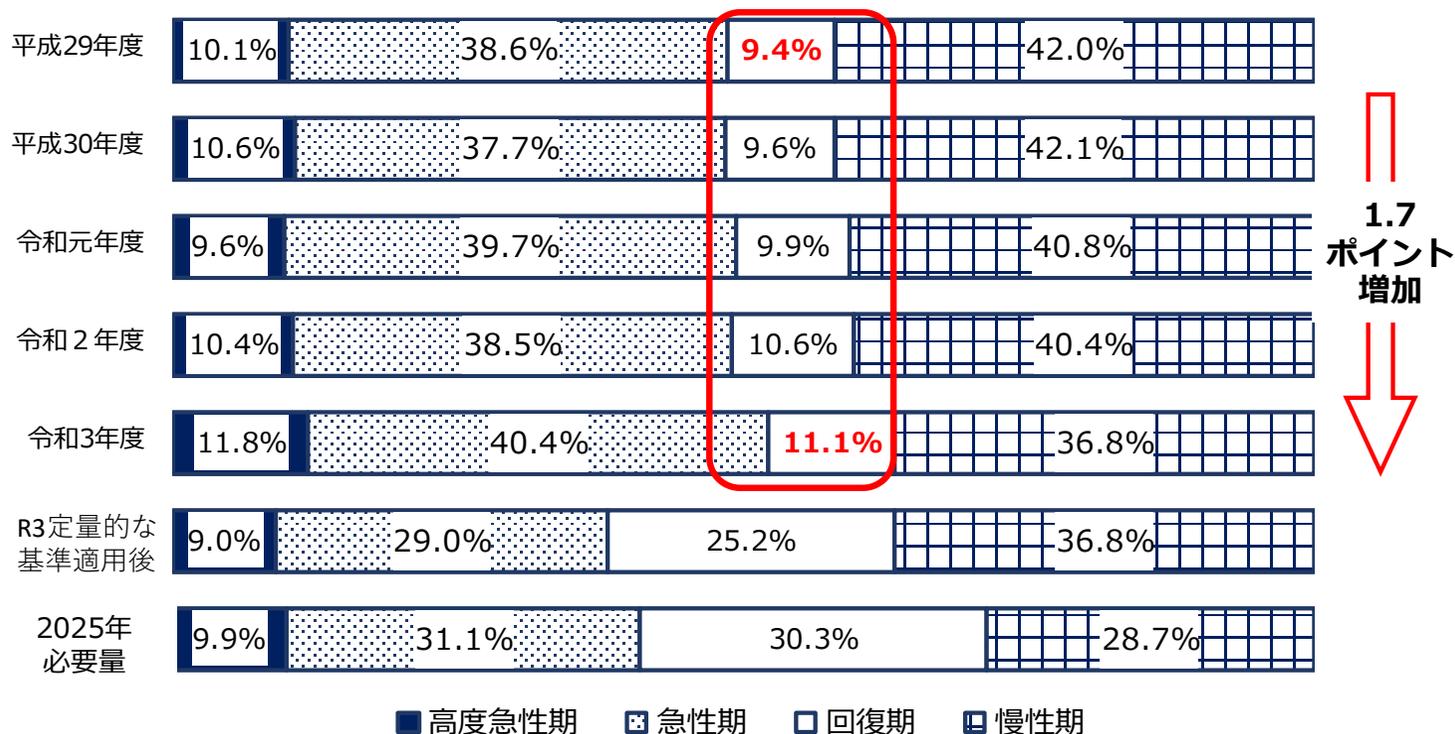
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

【北多摩北部】 病床の機能分化の進捗状況①

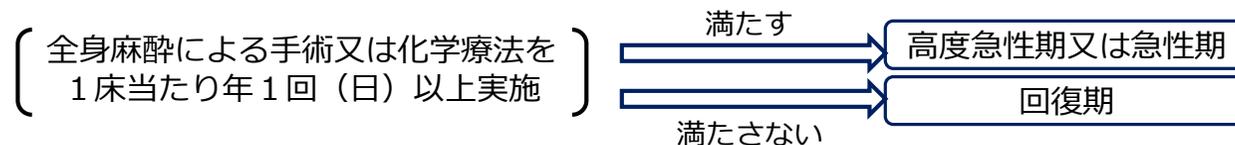
- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和3年度では 1.7ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

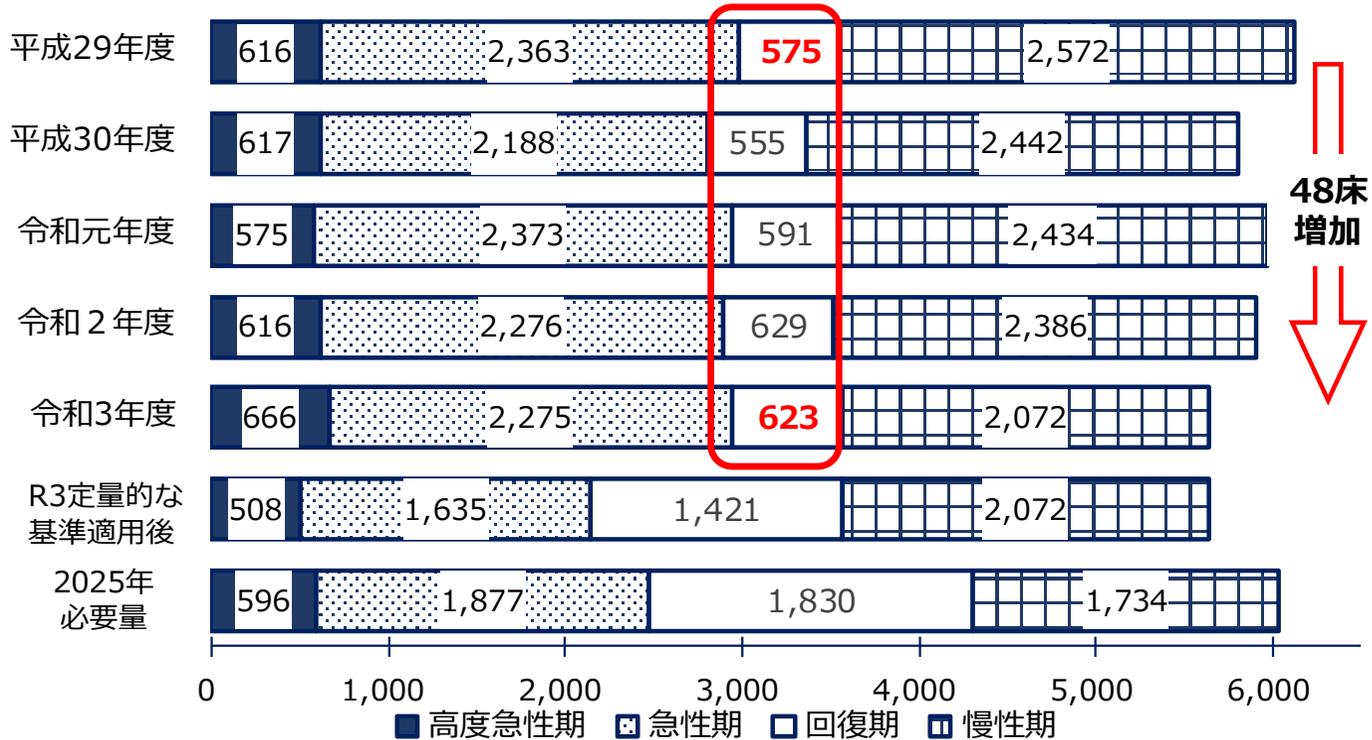


（出所）病床機能報告より作成

【北多摩北部】 病床の機能分化の進捗状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和3年度では 48床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

【北多摩北部】一般病床及び療養病床の状況

一般病床

療養病床

救命救急入院料

入院料2 0施設 0床 入院料1 1施設 20床
入院料4 0施設 0床 入院料3 0施設 0床

特定集中治療室管理料

管理料1 1施設 8床
管理料2 0施設 0床
管理料3 0施設 0床
管理料4 0施設 0床

ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料1 6施設 64床
管理料2 0施設 0床

特定機能病院入院基本料

7対1 0施設 0床

専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

急性期一般入院料 1

7施設 1,345床

7施設1,345床

回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料1 4施設 209床 入院料4 2施設 100床
入院料2 1施設 60床 入院料5 1施設 16床
入院料3 1施設 33床 入院料6 0施設 0床

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料1 5施設 135床 入院料3 1施設 22床
入院料2 2施設 24床 入院料4 0施設 0床

小児特定集中 治療室管理料

0施設 0床

脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

1施設 12床

急性期一般入院料 2～7

8施設 885床

緩和ケア病棟入院料

入院料1 1施設 20床
入院料2 2施設 51床

療養病棟入院基本料

基本料1 11施設 997床
基本料2 1施設 74床

総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 1施設 3床
新生児 0施設 0床

地域一般入院料

入院料1・2 3施設 103床
入院料3 5施設 211床

障害者施設等入院基本料

入院料1 1施設 139床
入院料2 4施設 238床
入院料3 0施設 0床
入院料4 0施設 0床

新生児特定集中治療室 管理料

管理料1 0施設 0床
管理料2 1施設 6床

新生児治療回復室 入院医療管理料

1施設 12床

小児入院医療管理料

入院料1 0施設 0床
入院料2 2施設 58床
入院料3 0施設 0床
入院料4 0施設 0床

特殊疾患病棟入院料

0施設 0床

有床診療所入院基本料

5施設 82床

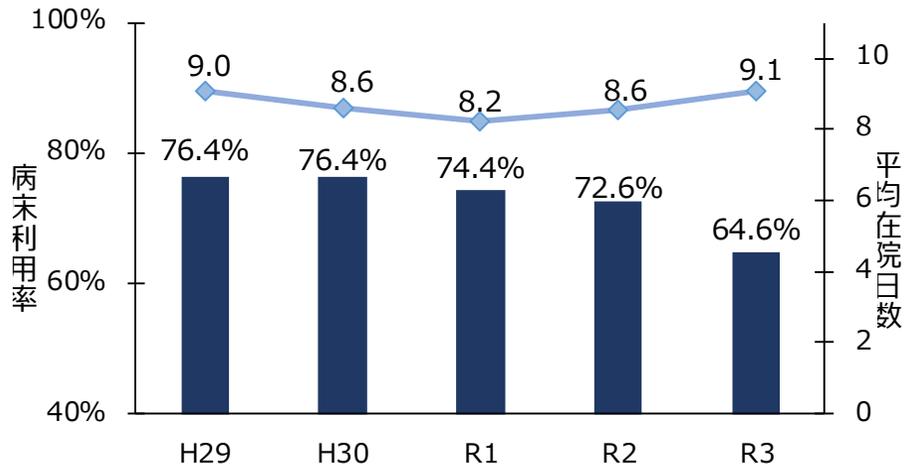
有床診療所療養病床入院基本料

0施設 0床

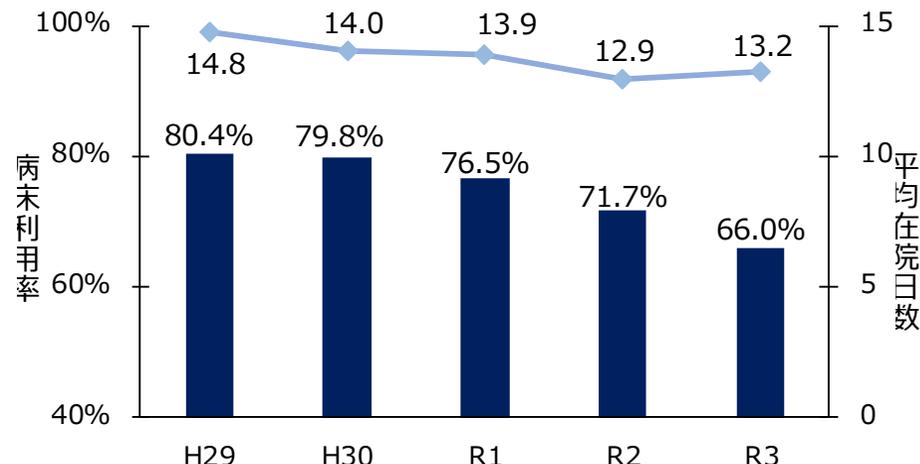
DPC/PDCS 9施設2,025床

【北多摩北部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

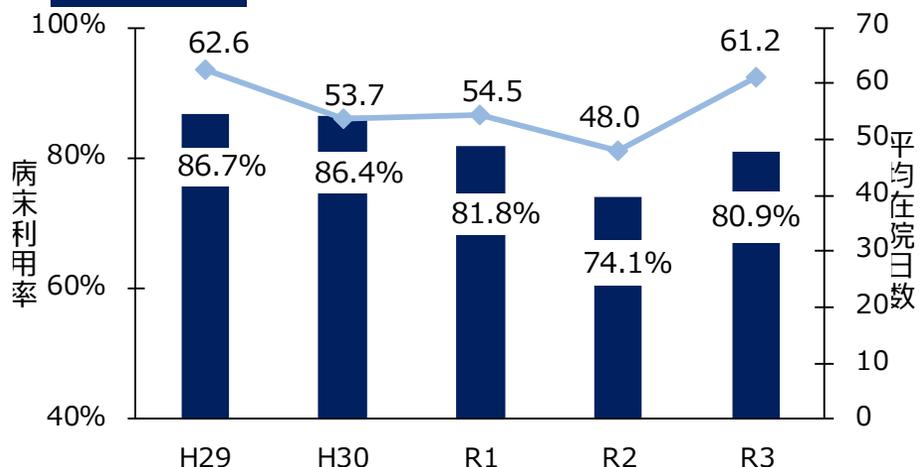
高度急性期



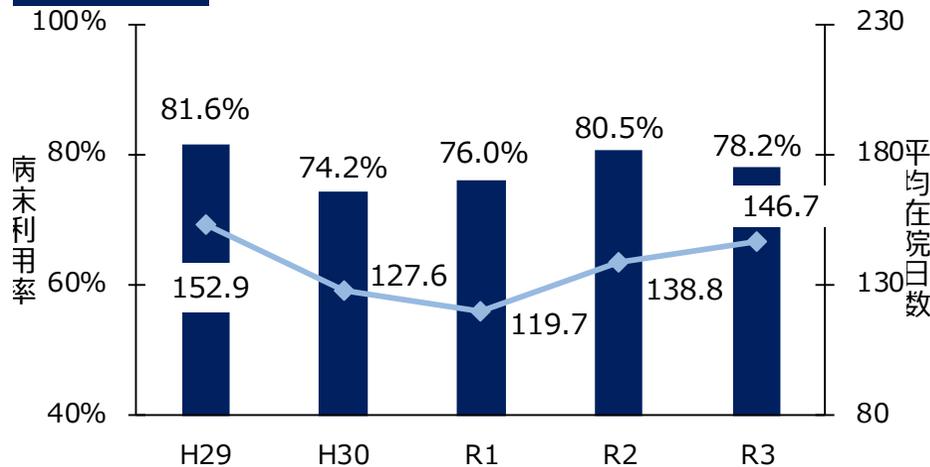
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度報告は、令和2年4月1日～令和3年3月31日の数値

$$\text{病床利用率} = \frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数} \times \text{年間日数）}} \times 100$$

$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$$

■ 病床利用率
◆ 平均在院日数（右軸）

（出所）病床機能報告より作成